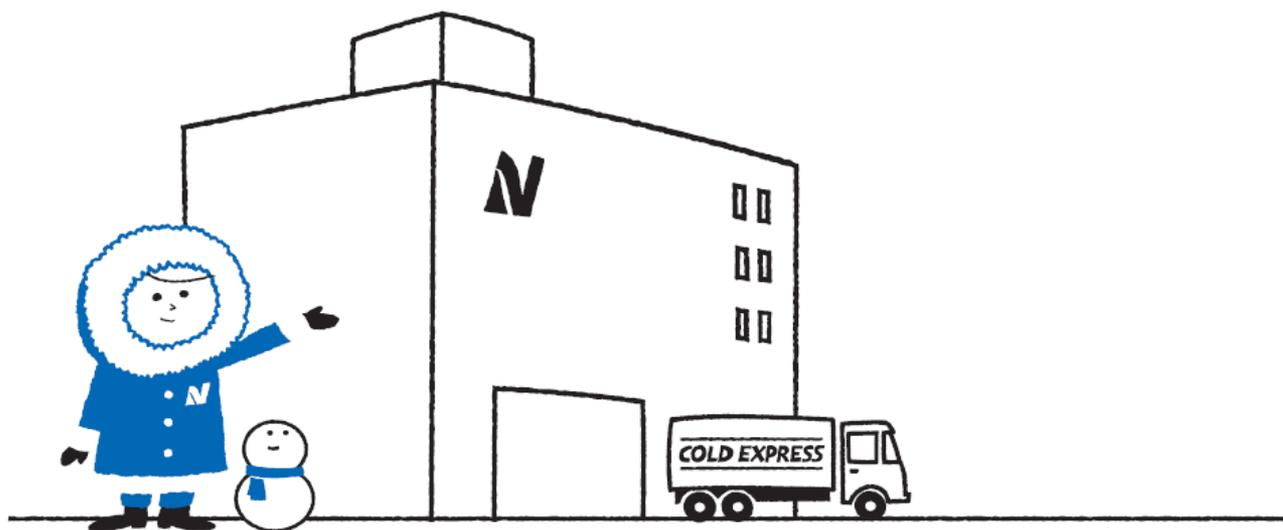


ニチレイロジグループ

2015年度事業報告会

2016年5月16日



- 1. 企業概要**
- 2. 2016年3月期 決算概要**
- 3. 前中期経営計画（2013-2015）**
- 4. 新中期経営計画（2016-2018）**
- 5. 参考資料**

1. 企業概要

[組織体制]

(株)ニチレイロジグループ本社 (持株会社)

2016年4月現在

地域保管事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道

(株)ニチレイ・ロジスティクス東北

(株)ニチレイ・ロジスティクス関東

(株)キョクレイ

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海

(株)ニチレイ・ロジスティクス関西

(株)ニチレイ・ロジスティクス中四国

(株)ニチレイ・ロジスティクス九州

エンジニアリング事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス
エンジニアリング

物流ネットワーク事業

(3PL・運送・流通・加工)

(株)ロジスティクス・ネットワーク

(株)ロジスティクス・プランナー

(株)NKトランス

ロジネットとロジプランを
合併



子会社30社 関連会社6社

海外事業

欧州事業

Nichirei Holding Holland B.V.

Eurofrigo B.V.

HIWA Rotterdam Port Cold Stores B.V.

Thermotraffic Holland B.V.
Thermotraffic Strowmar LTD.

Thermotraffic GmbH

Frigo Logistics Sp.z o.o.

Transports Godfroy S.A.S

Entrepots Godfroy S.A.S

中国事業

上海鮮冷儲運有限公司

タイ事業 (関連会社)

SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.

[ミッション・ビジョン]

【ミッション】

食品の物流を通じて、生活者の暮らしに貢献する。
(生活者に新鮮で安全な食品を効率良くお届けする)

【基本姿勢】

グループ中核事業として適正な収益を確保する。
常に顧客視点で全体最適を考え物流効率化を実現する。
また、「品質・環境・安全」を最優先の経営課題とする。

【事業ビジョン】

食品物流事業者No.1の地位確立に向け、グループ全体が持つ3PL、保管、仕分け、流通加工、輸送、配送、情報システム等、各機能の有機的な組み合わせにより、サプライチェーン全体にわたる物流の高度化と効率化を提案しつづける。



[ブランドスローガン]

選ばれつつける仕事。

[ブランドステートメント]

ニチレイロジグループは
確かな専門知識と総合力に加え、
社員ひとりひとりの新しい発想と提案力をもって
これからの低温物流をリードし、
日本の「食」を支え続けます。

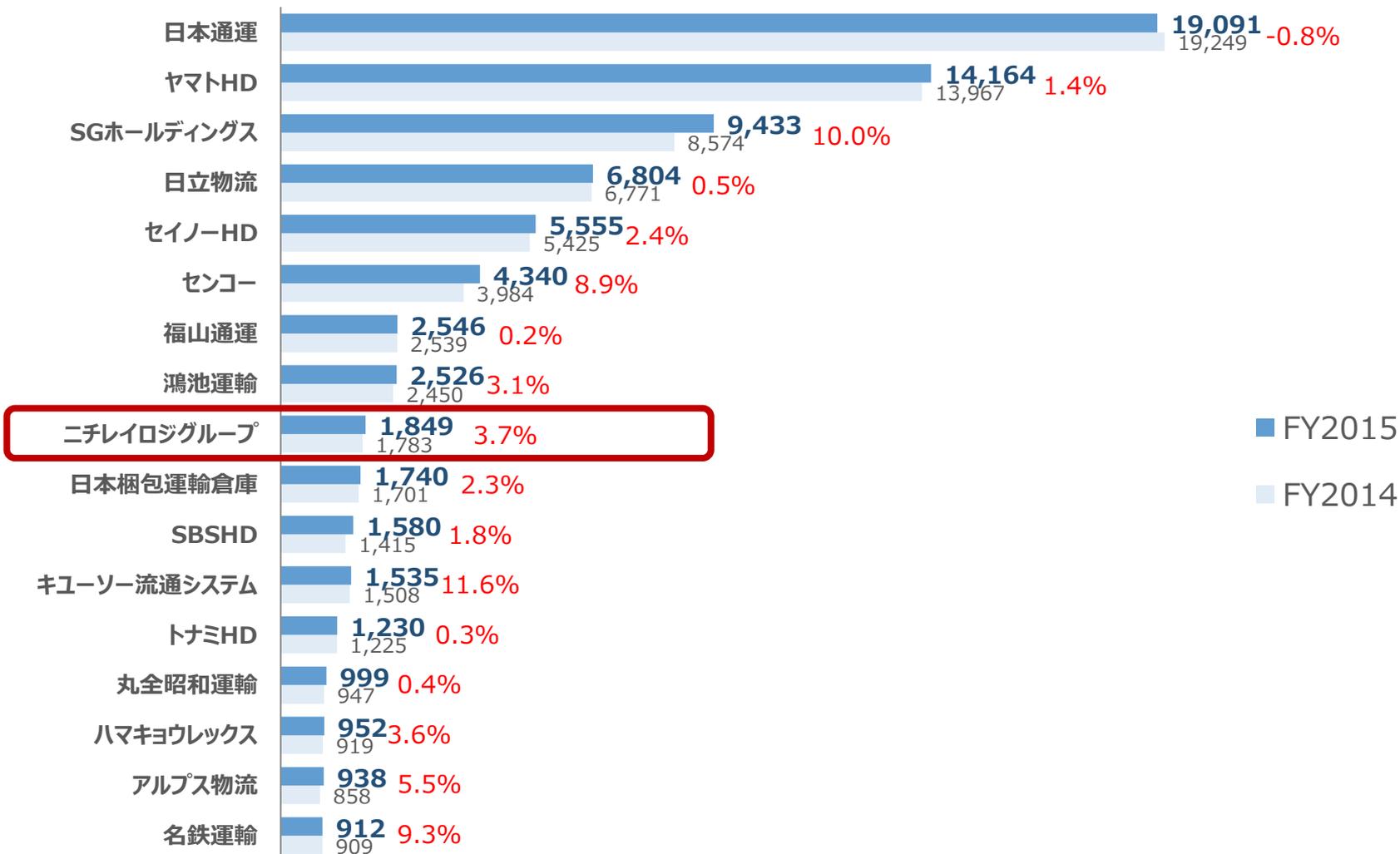


1. 企業概要

[ポジション①]

単位：億円

主要物流企業（陸運）の売上高



■ FY2015
■ FY2014

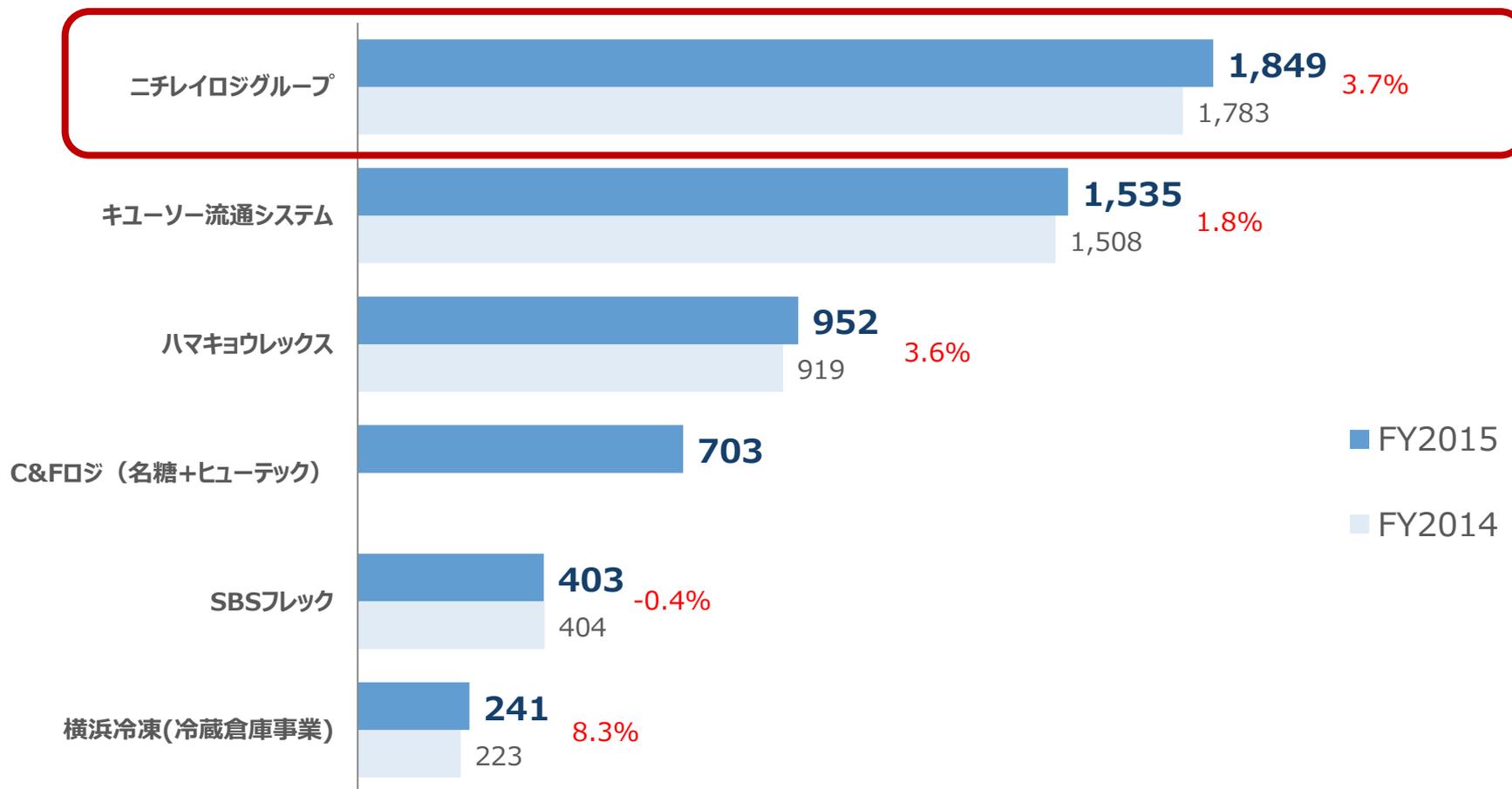
※トラックによる輸送を主とする物流会社を選定
※各社決算短信（2016年5月13日時点の最新版）における年度実績数値を基に作成

1. 企業概要

[ポジション②]

単位：億円

主要低温物流企業の売上高



※低温物流を主とする物流会社を選定
※各社決算短信（2016年5月13日時点の最新版）における年度実績数値を基に作成

1. 企業概要

[ポジション③]

冷蔵倉庫設備能力国内ランキング

順位	会社名	設備能力 (トン)	全国シェア
1	ニチレイロジグループ	1,446,328	10.1%
2	横浜冷凍(株)	802,892	5.6%
3	(株)マルハニチロ物流	634,183	4.4%
4	(株)C&Fロジホールディングス	494,412	3.4%
5	東洋水産(株)	483,135	3.4%
6	日水物流(株)	408,553	2.8%
7	(株)松岡	272,569	1.9%
8	鴻池運輸(株)	250,025	1.7%
9	(株)キューソー流通システム	248,636	1.7%
10	(株)二葉	223,594	1.6%
11	五十嵐冷蔵(株)	216,590	1.5%
12	日本物流センター(株)	172,110	1.2%
13	第一倉庫冷蔵(株)	170,916	1.2%
14	(株)兵食	155,624	1.1%
15	藤林系	147,994	1.0%
16	(株)ハウスイ	137,569	1.0%
17	寶船冷蔵(株)	136,615	0.9%
18	(株)上組	107,684	0.7%
19	山手冷蔵(株)	102,697	0.7%
20	(株)ランテック	95,740	0.7%

※出所：日本冷蔵倉庫協会 2016年4月

冷蔵倉庫設備能力世界ランキング

順位	Company	Locations	Capacity (m3)
1	Americold Logistics	United states, etc.	28,095,138
2	Lineage Logistics	United states	16,998,329
3	Swire Group	United states, etc.	9,459,033
4	Preferred Freezer Services	United states, etc.	7,302,384
5	Nichirei Logistics Group, Inc.	Japan, etc.	4,315,673
6	Kloosterboer	Netherlands, etc.	3,522,707
7	VersaCold Logistics Services	Canada	3,380,950
8	Partner Logistics (ICSH B.V.)	Netherlands, etc.	2,860,594
9	Interstate Warehousing, Inc.	United states	2,335,274
10	AGRO Merchants Group, LLC	United states, etc.	2,264,739
11	Nordic Logistics and Warehousing, LLC	United states	1,980,137
12	Cloverleaf Cold Storage Co.	United states	1,840,131
13	Burriss Logistics	United states	1,764,974
14	Frialsa Frigorificos S.A. De C.V.	Mexico	1,724,274
15	MUK Logistik GmbH	Germany	1,720,500
16	Gruppo Marconi Logistica Integrata	Italy	1,559,999
17	Henningsen Cold Storage Co.	United states	1,522,207
18	Congebec Logistics, Inc.	Canada	1,406,212
19	Bring Frigo	Sweden, etc.	1,271,790
20	Hanson Logistics	United states	1,118,472

※出所：IARW（世界冷蔵倉庫協会）「Global Top 25 List」2015年3月

1. 企業概要

2. 2016年3月期 決算概要

3. 前中期経営計画（2013-2015）

4. 新中期経営計画（2016-2018）

5. 参考資料

2. 2016年3月期 決算概要

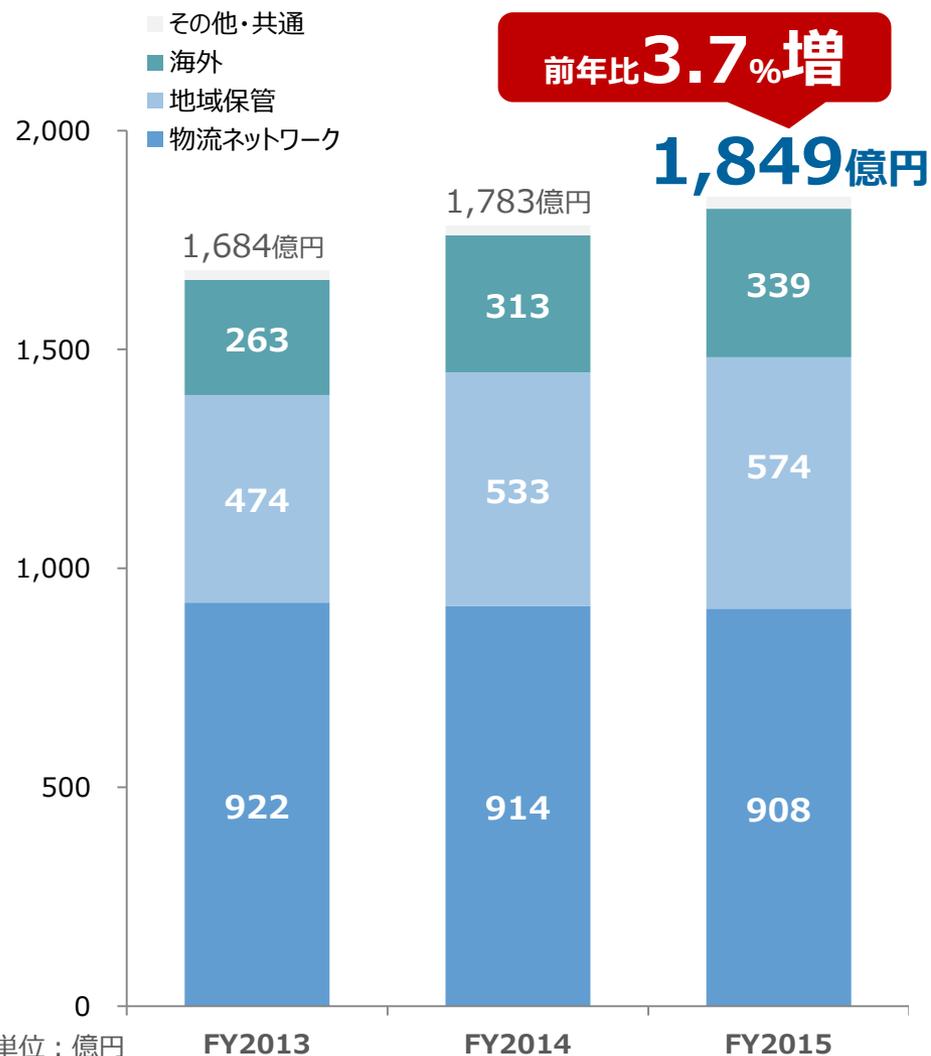
[ハイライト]

	分社後の最高益			
連結	売上高	: 1,849億円	前年比	3.7%増
	営業利益	: 100億円	前年比	14.0%増
物流 ネットワーク 事業	TC事業が好調			
	売上高	: 908億円	前年比	0.7%減
	営業利益	: 34億円	前年比	6.3%増
地域保管 事業	関東・関西で集荷拡大			
	売上高	: 574億円	前年比	7.7%増
	営業利益	: 54億円	前年比	20.5%増
海外 事業	欧州事業が回復・拡大			
	売上高	: 339億円	前年比	8.2%増
	営業利益	: 14億円	前年比	35.5%増

2. 2016年3月期 決算概要

[連結：売上高]

売上高の推移



トピックス

物流ネットワーク

- ・ 既存TC事業の業容拡大
- ・ 大阪埠頭DC2期棟の受管
- ・ 東海エリアの運送拠点に移管

地域保管

- ・ 関東・関西における高在庫
- ・ 関西/咲洲DCの本格稼働
- ・ 大阪埠頭DC2期棟の移管
- ・ 東海エリアの地域ネットワーク化

海外

- ・ 欧州運送・通関事業の基盤拡大
- ・ オランダ、フランスの在庫回復
- ・ 上海流通事業の拡大

2. 2016年3月期 決算概要

[連結：営業利益]

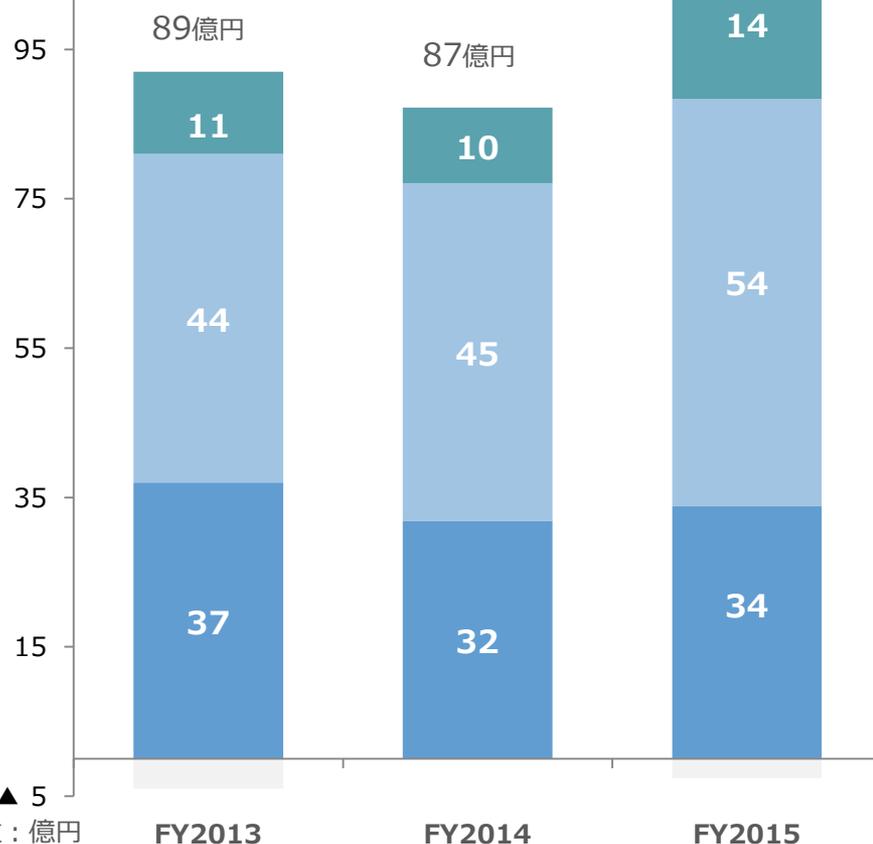
営業利益の推移

トピックス

- その他・共通
- 海外
- 地域保管
- 物流ネットワーク

前年比 **14%増**

100億円



物流ネットワーク

- TC事業、DC事業の増収効果
- 運送効率の向上
- 適正料金の収受

地域保管

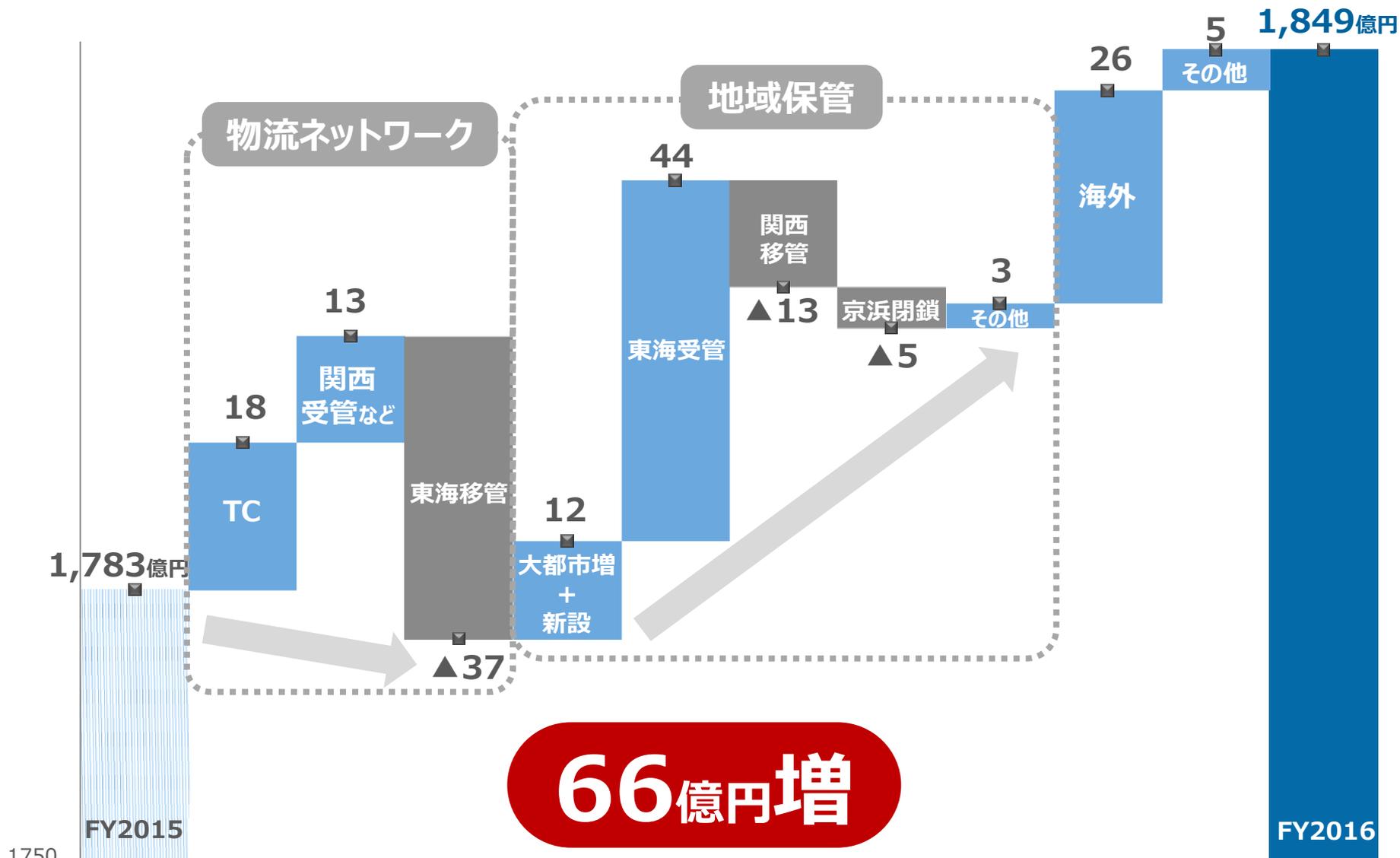
- 関東・関西における高在庫
- 電力コスト（燃料調整費）の下落影響
- 東海エリアの地域ネットワーク化

海外

- 欧州事業の増収効果
- 英国新設会社の本格稼働
- 中国事業の黒字回復

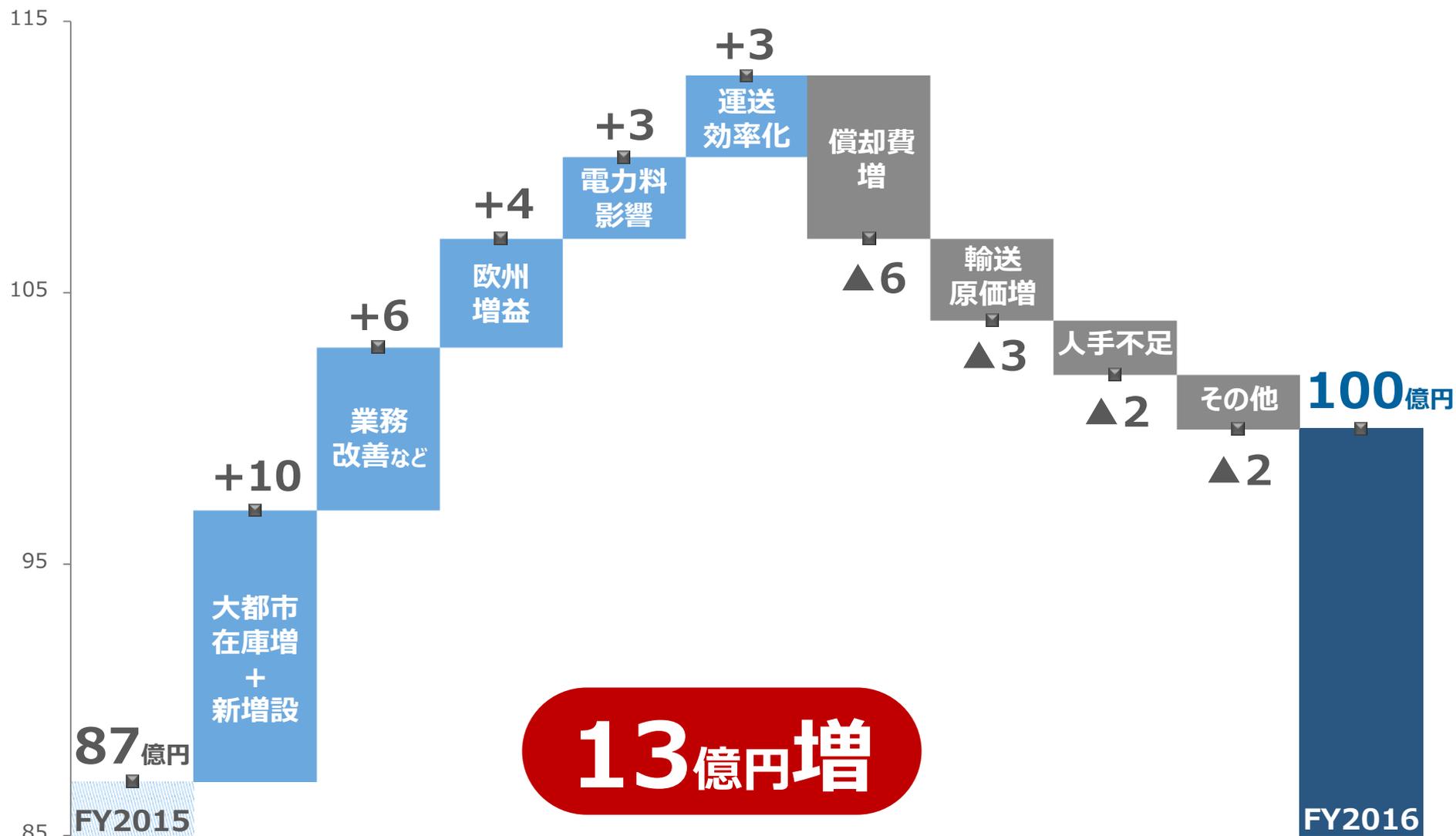
2. 2016年3月期 決算概要

[連結：売上高の増減要因]



2. 2016年3月期 決算概要

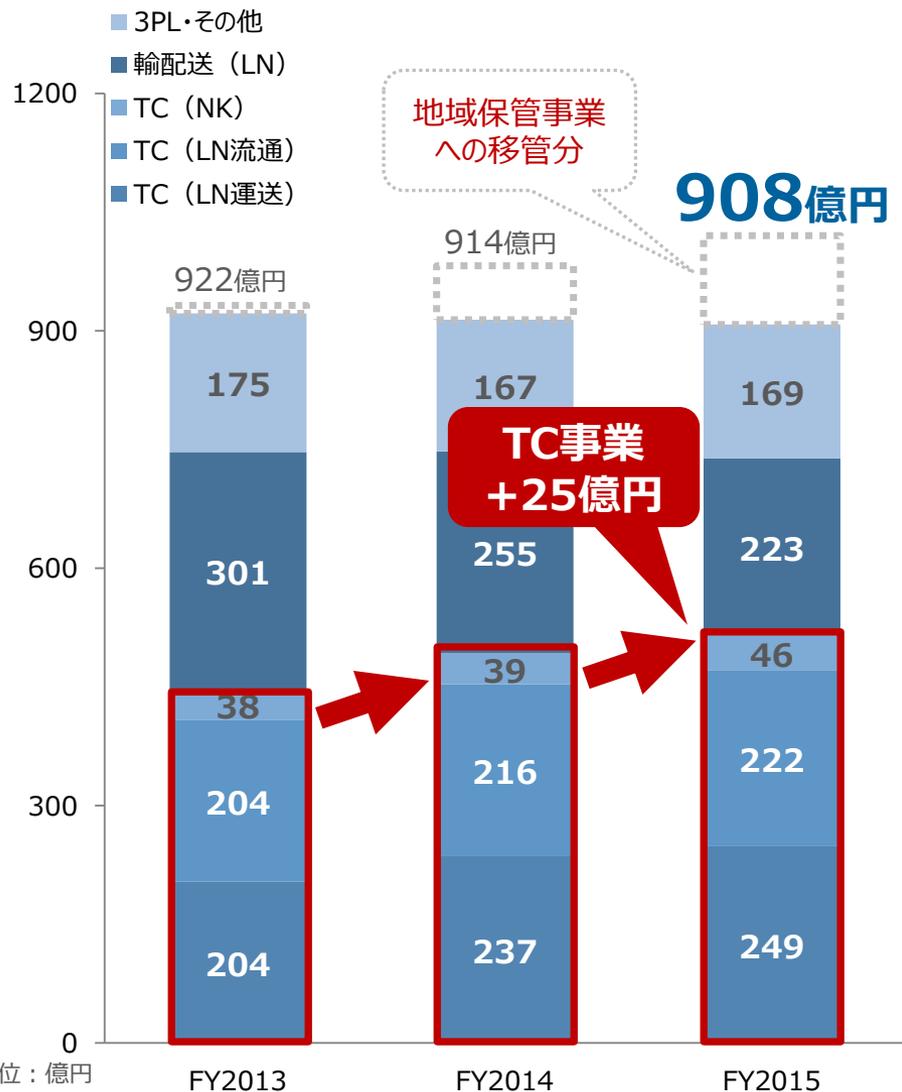
[連結：営業利益の増減要因]



2. 2016年3月期 決算概要

[物流ネットワーク事業]

売上高推移



トピックス

■ TC事業

- 既存顧客の取扱物量拡大
(常温の取扱高：昨対比+18%)
- 新センター1拠点稼働

■ 輸配送事業

- 大阪埠頭DC2期棟の受管
- 東海エリアの運送拠点の移管

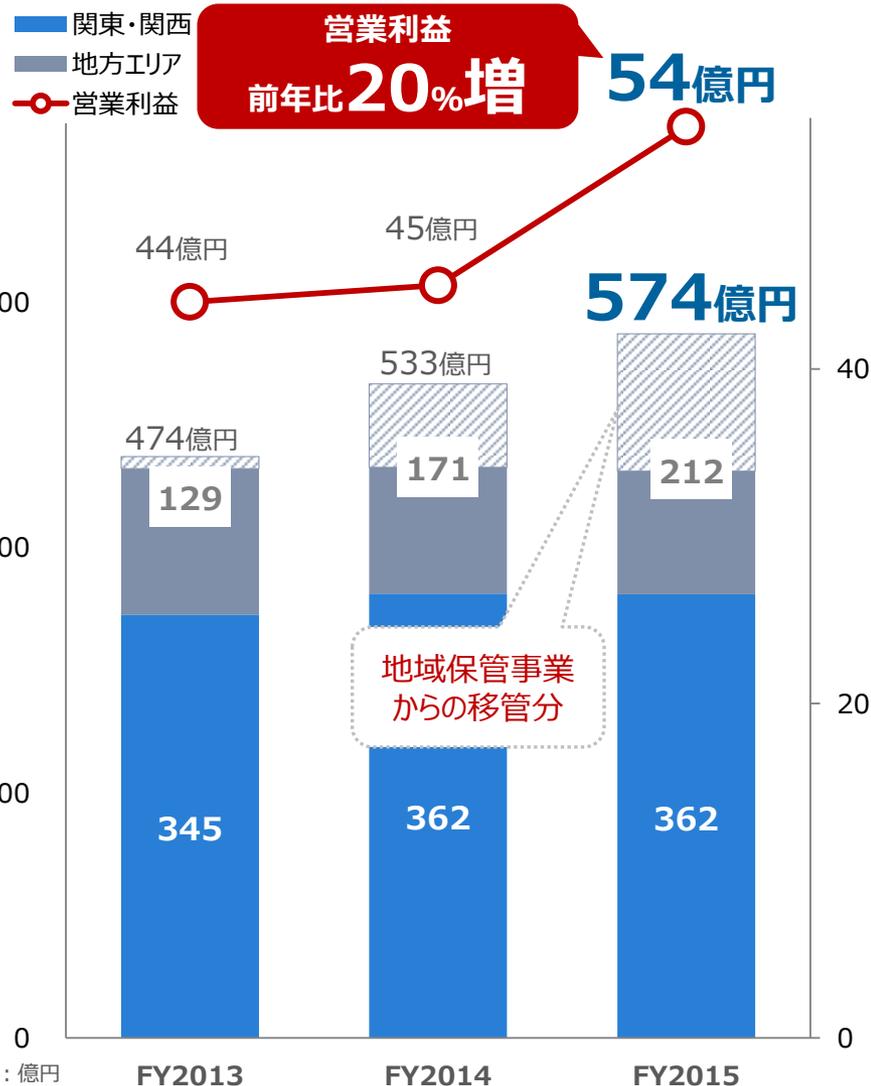
■ 3PL事業

- 外食共配の拡大
- 物流管理代行機能による新規顧客獲得

2. 2016年3月期 決算概要

[地域保管事業]

売上高・営業利益推移



トピックス

■ 関東

- 東京団地冷蔵閉鎖に伴う高在庫
(2015年平均在庫率39%：昨対比+5ポイント)
- 京浜埠頭DC閉鎖
(売上高▲5億円の影響)

■ 関西

- 咲洲DCの本格稼働
- 港湾エリアにおける高在庫
(2015年平均在庫率39%：昨対比+3ポイント)
- 大阪埠頭DC2期棟の移管

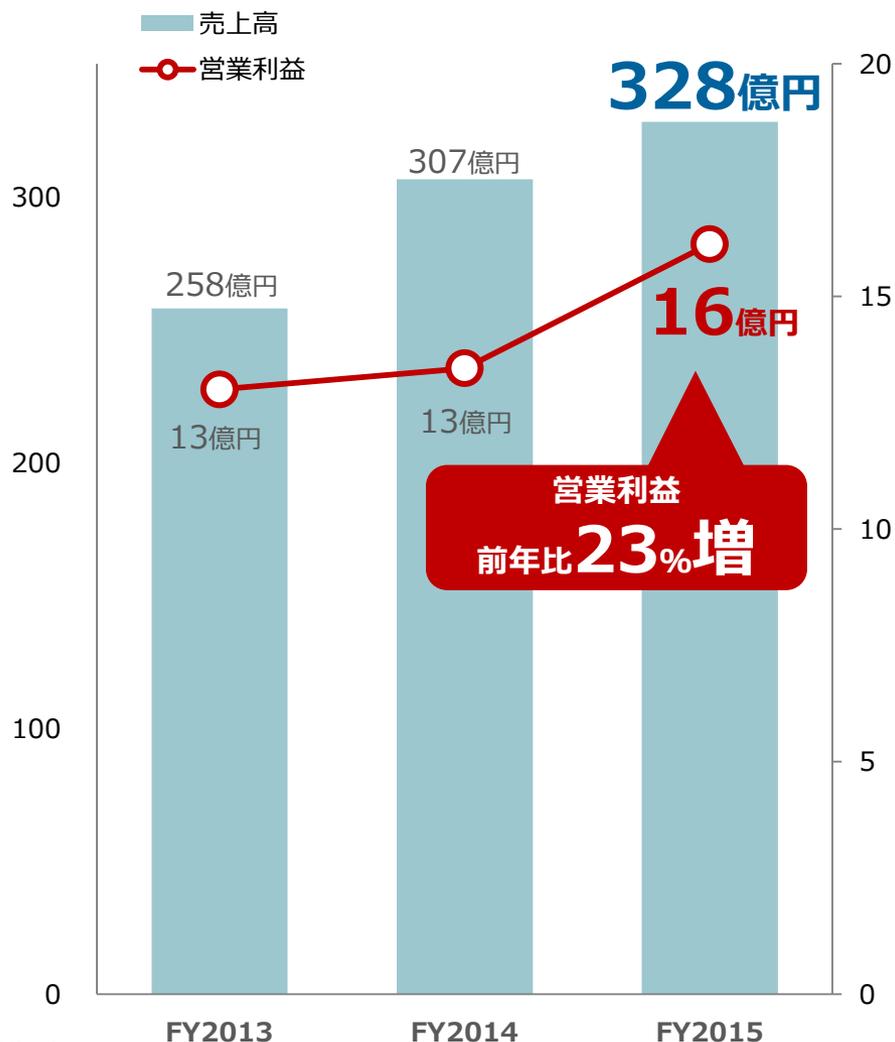
■ 地方エリア

- 東海エリアの地域ネットワーク化
- 保管・運送の一体営業による
地場貨物の集荷拡大

2. 2016年3月期 決算概要

[欧州事業]

売上高・営業利益推移



トピックス

■ 保管

- ロッテルダム港湾エリアの在庫回復
- フランスの在庫回復
- ポーランドにて新規小売顧客の獲得

■ 通関

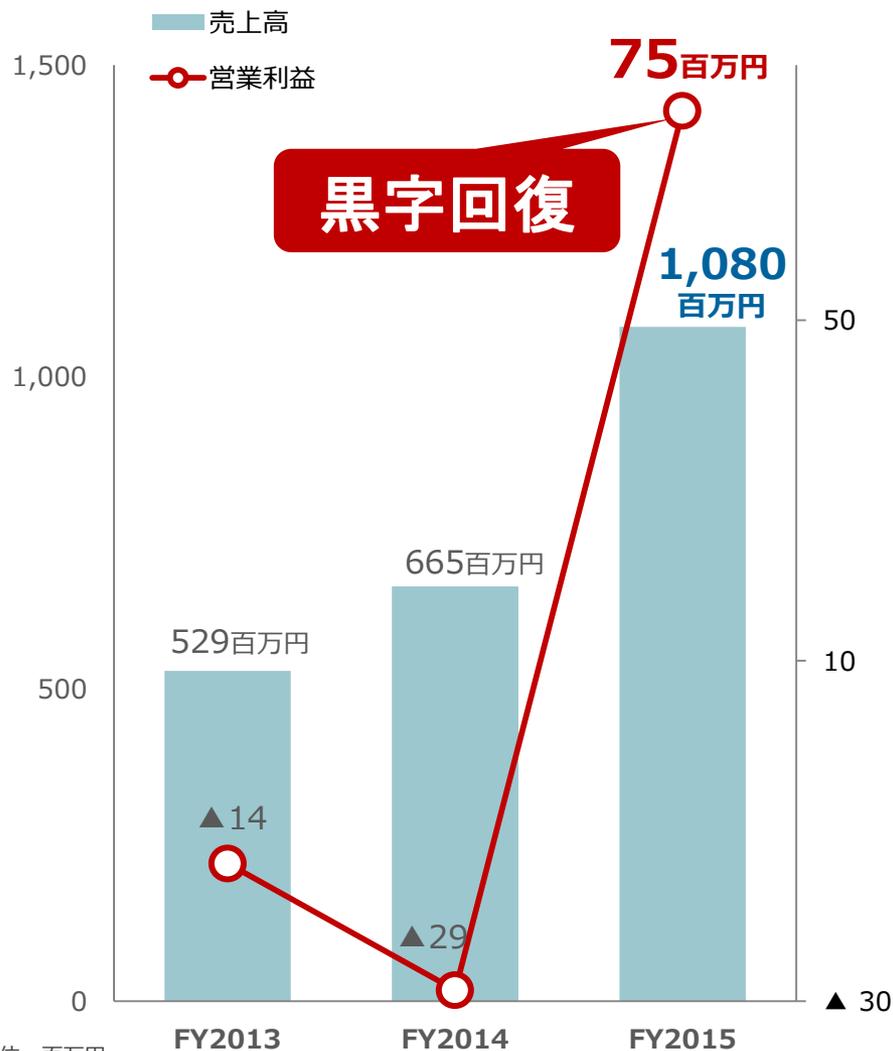
- 英国の新会社が順調に稼働
- フルーツの取扱拡大

■ 運送

- 医薬品物流の拡大
(売上高：昨対比+30%)
- フランクフルト、バルセロナ、ミラノに運送事業所を新設し集荷拡大

[中国事業]

売上高・営業利益推移



トピックス

■ 流通事業

- ・ 常温センターの本格稼働
- ・ 2014年度の業務改善効果

■ 保管事業

- ・ 顧客再編による収益力向上
- ・ 2014年度の業務改善効果

■ 運送事業

- ・ 備車活用による収益力向上
- ・ 保管、運送の一体サービス提供による新規顧客の獲得

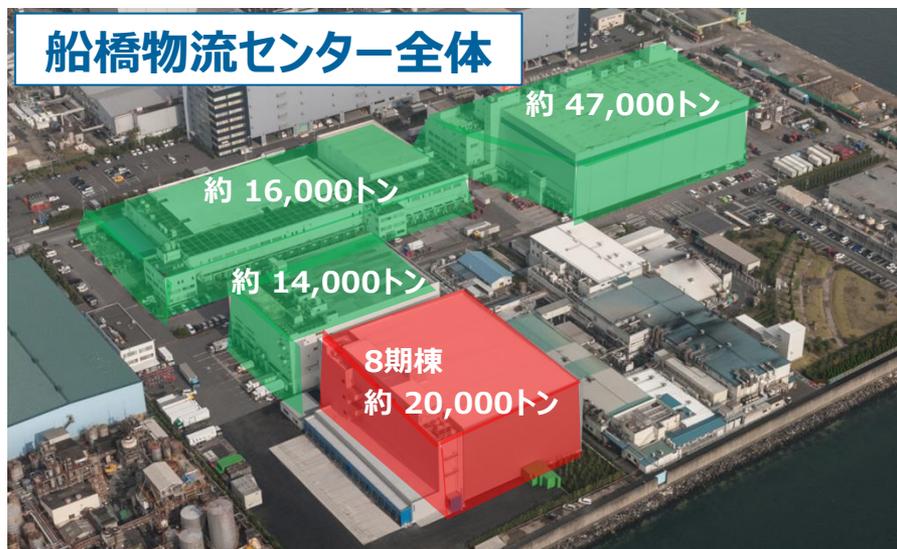
2. 2016年3月期 決算概要

[トピックス 国内]

船橋物流センター8期棟稼働



船橋物流センター全体



所在地	千葉県船橋市日の出2-19-3
構造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造4階建
設備能力	20,260トン (F級 15,195トン、FC級 1,690トン、C級3,375トン)
接車バース	15基
環境対応	・LED照明 ・アンモニアCO2冷凍機 (自然冷媒) の導入
セキュリティ対応	・顔認証カメラの導入 ・24時間監視カメラの設置

2. 2016年3月期 決算概要

[トピックス 海外]

ポーランドの事業構造改革

フリゴロジスティクス社

季節商材からの脱却

改革前

[主要業務]

- ① 大手アイスクリームメーカーの拠点
- ② 大手小売の物流センター業務
- ③ 地場貨物の保管

[課題]

・アイスクリームの季節波動影響により在庫率が不安定



改革後

[主要業務]

- ① 大手小売の物流センター業務
- ② 大手小売のベンダー在庫保管
- ③ 地場貨物の保管

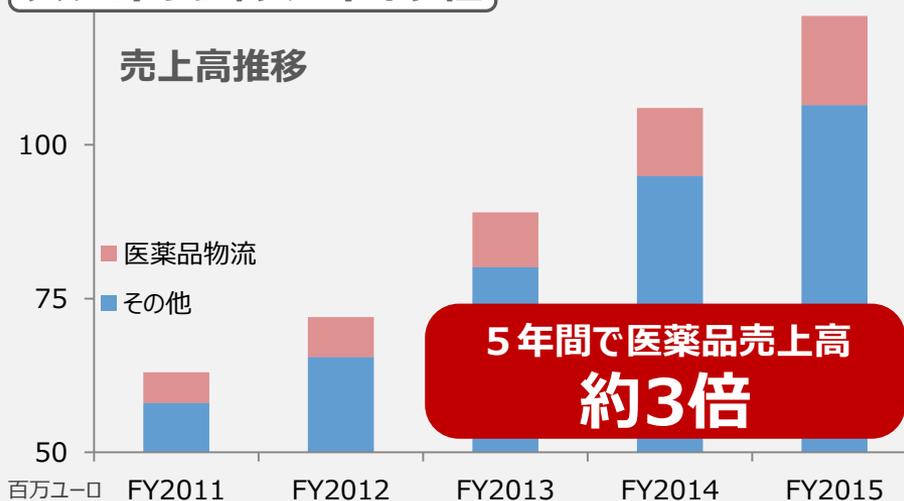
[効果]

・在庫率の安定
・配送効率の向上

医薬品物流の拡大 (欧州)

テルモトラフィック・ドイツ社

売上高推移



5年間で医薬品売上高
約3倍



テルモトラフィック・ドイツ社の車両

1. 企業概要
2. 2016年3月期 決算概要
- 3. 前中期経営計画（2013-2015）**
4. 新中期経営計画（2016-2018）
5. 参考資料

3. 前中期経営計画 (2013-2015)

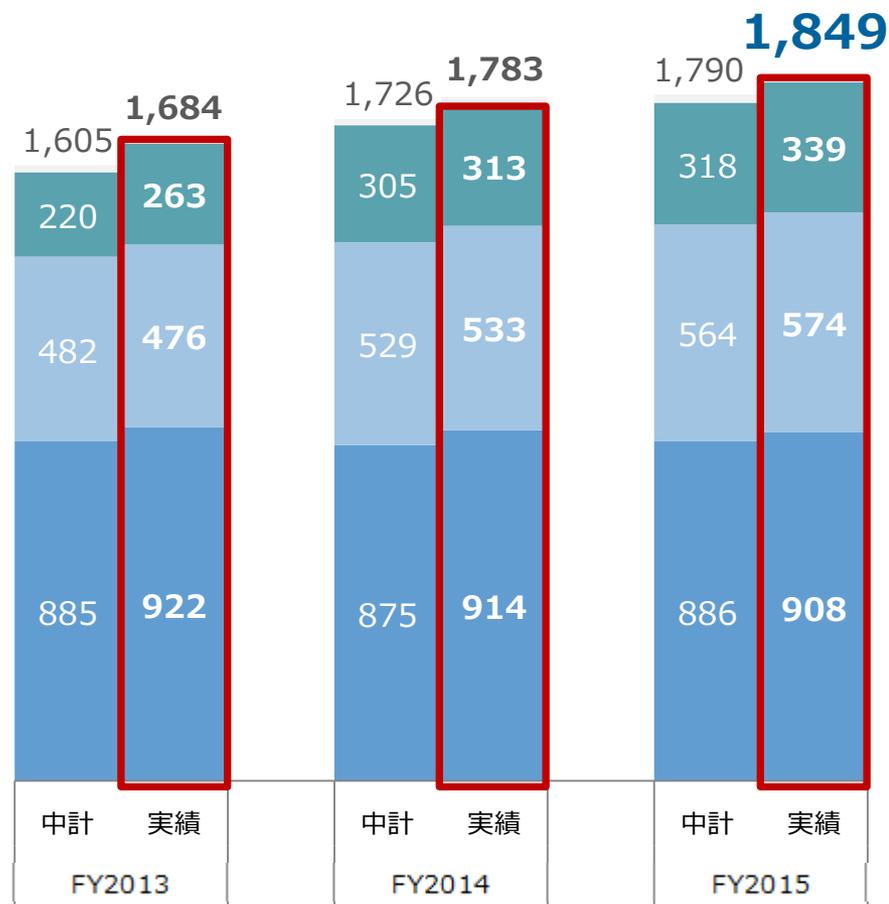
[業績結果]

売上高

- その他
- 海外事業
- 地域保管事業
- 物流ネットワーク事業

単位：億円

計画比 + 59億円

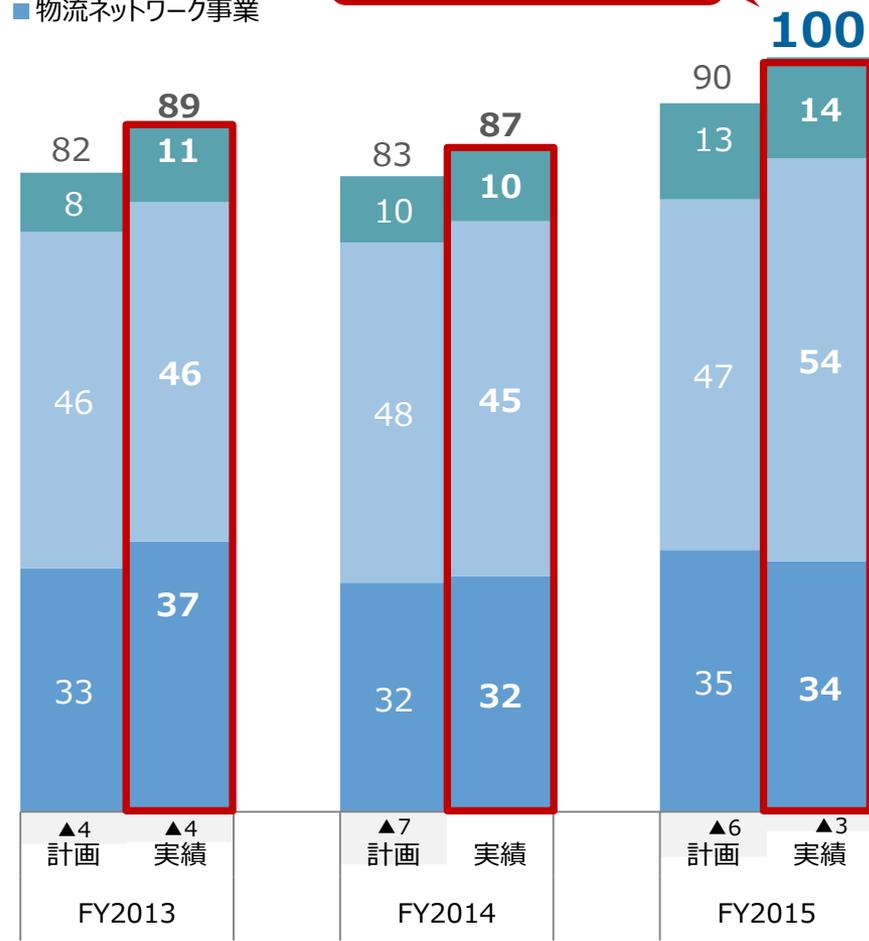


営業利益

- その他
- 海外事業
- 地域保管事業
- 物流ネットワーク事業

単位：億円

計画比 + 10億円



3. 前中期経営計画（2013-2015）

[成果]

国内	・ 設備投資による事業規模の拡大	2013年：東扇島DC2期棟 2014年：咲洲DC、十勝DC 2015年：船橋DC8期棟
	・ 地域ネットワーク化による 地域保管事業の活性化	2013年：中四国エリア 2014年：北海道エリア、東北エリア 2015年：東海エリア
	・ 外部環境変化への迅速な対応	電力料増加：使用電力量の削減、適正料金收受 運送規制強化：定時発着運行の実施、パレタイズ化 車両調達費上昇：運送効率化、適正料金收受
海外	・ 欧州事業の拡大	2013年：フランス・リヨン物流センター稼働 2014年：イギリスでの通関・運送事業開始 2015年：取扱品目拡大、小売店事業の拡大
	・ 中国事業の黒字化	2013年：第二センターの取扱物量増加 2014年：常温センター稼働 2015年：中国ローソンへのコンサルティングサービス開始
	・ タイ進出	2013年：運送事業の開始 2014年：冷蔵倉庫の稼働 2015年：バンコク駐在員事務所の設置

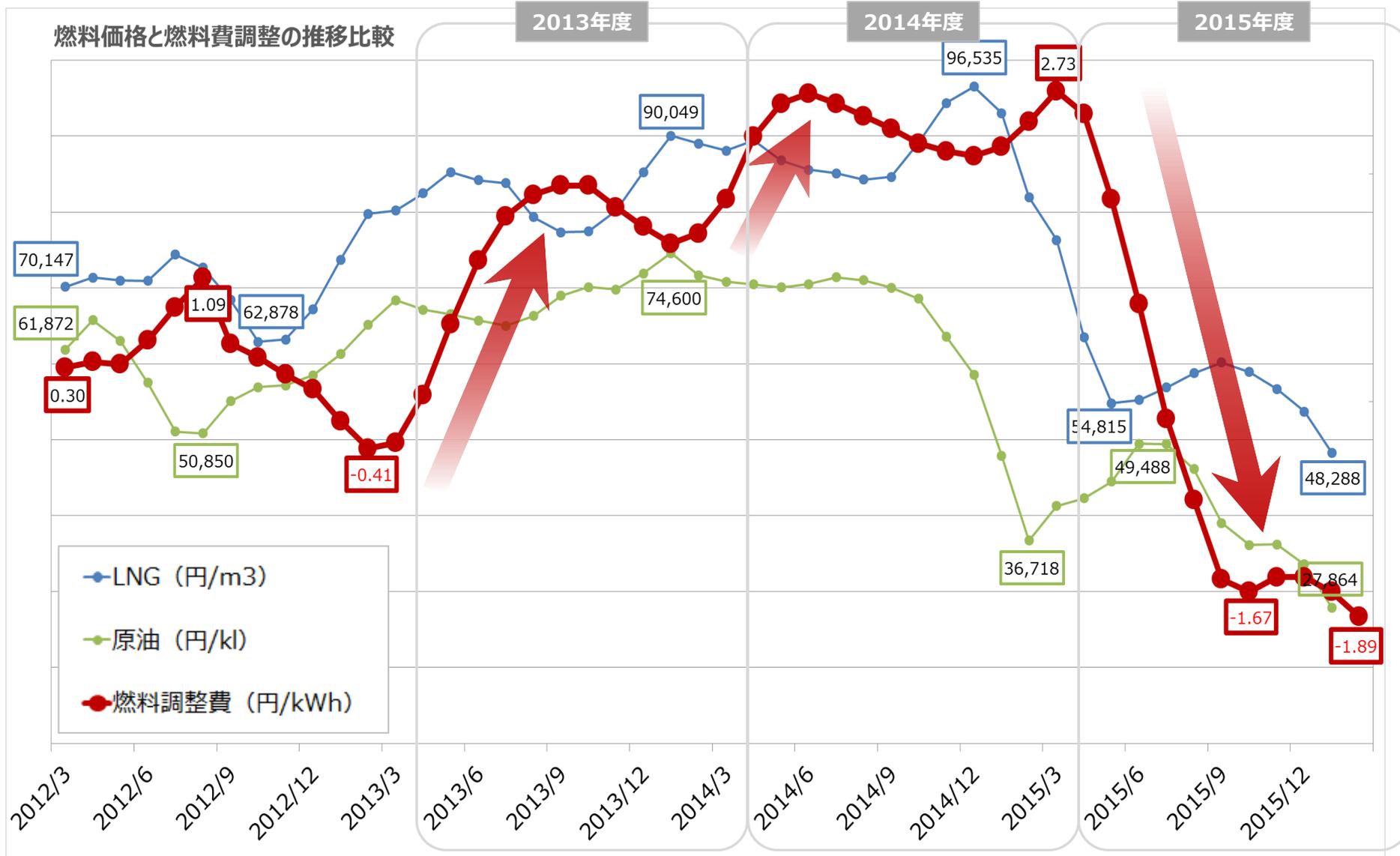
3. 前中期経営計画（2013-2015）

[課題]

国内	・ 外部環境変化への対応	・・・外部環境は更に悪化する見込み
	・ 新設センターを活用した収益拡大	・・・中長期的な視点に基づく顧客再編の実施
	・ 次の成長に向けた新規事業開発	・・・2015年に設置した事業開発部が本格稼働
海外	・ 欧州事業の収益向上	・・・中長期的な目標営業利益率は5%
	・ 中国事業の体制強化	・・・流通事業の拡大に向けた体制づくり
	・ タイ事業の安定稼働	・・・輸出入品、流通貨物の集荷拡大

3. 前中期経営計画（2013-2015）

[外部環境①]

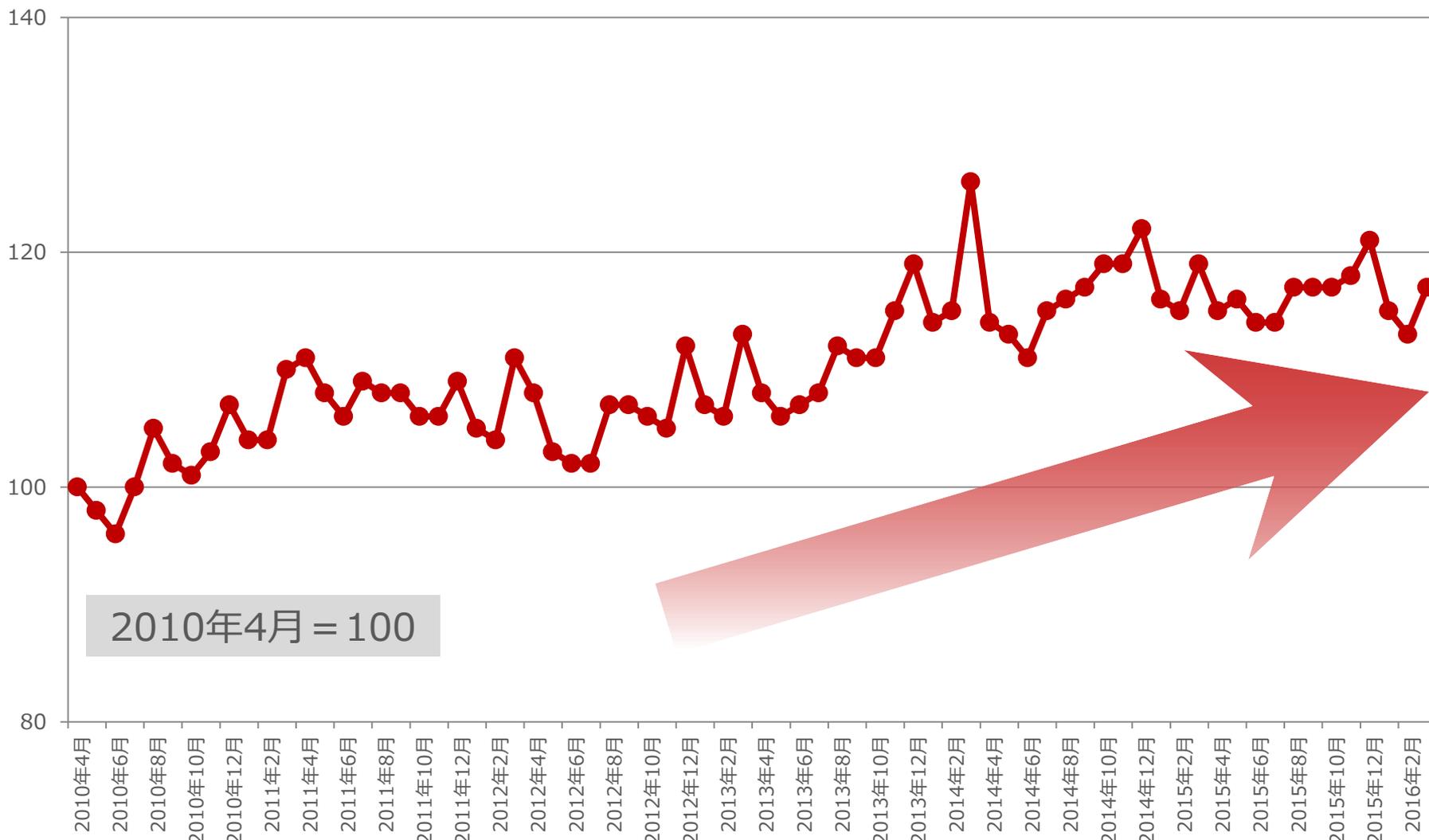


※財務省貿易統計、東京電力より

3. 前中期経営計画（2013-2015）

[外部環境②]

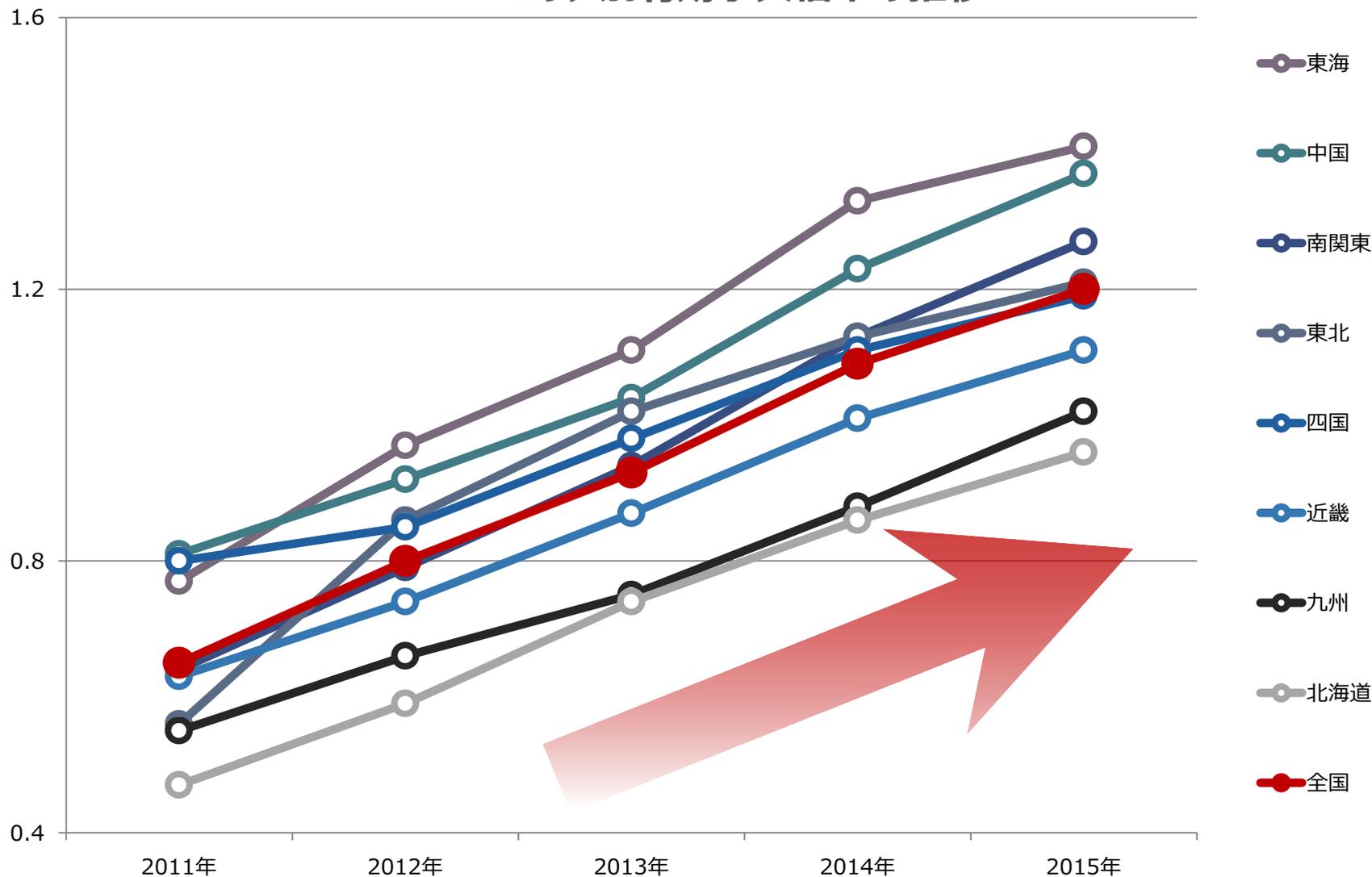
成約運賃指数の推移



3. 前中期経営計画（2013-2015）

[外部環境③]

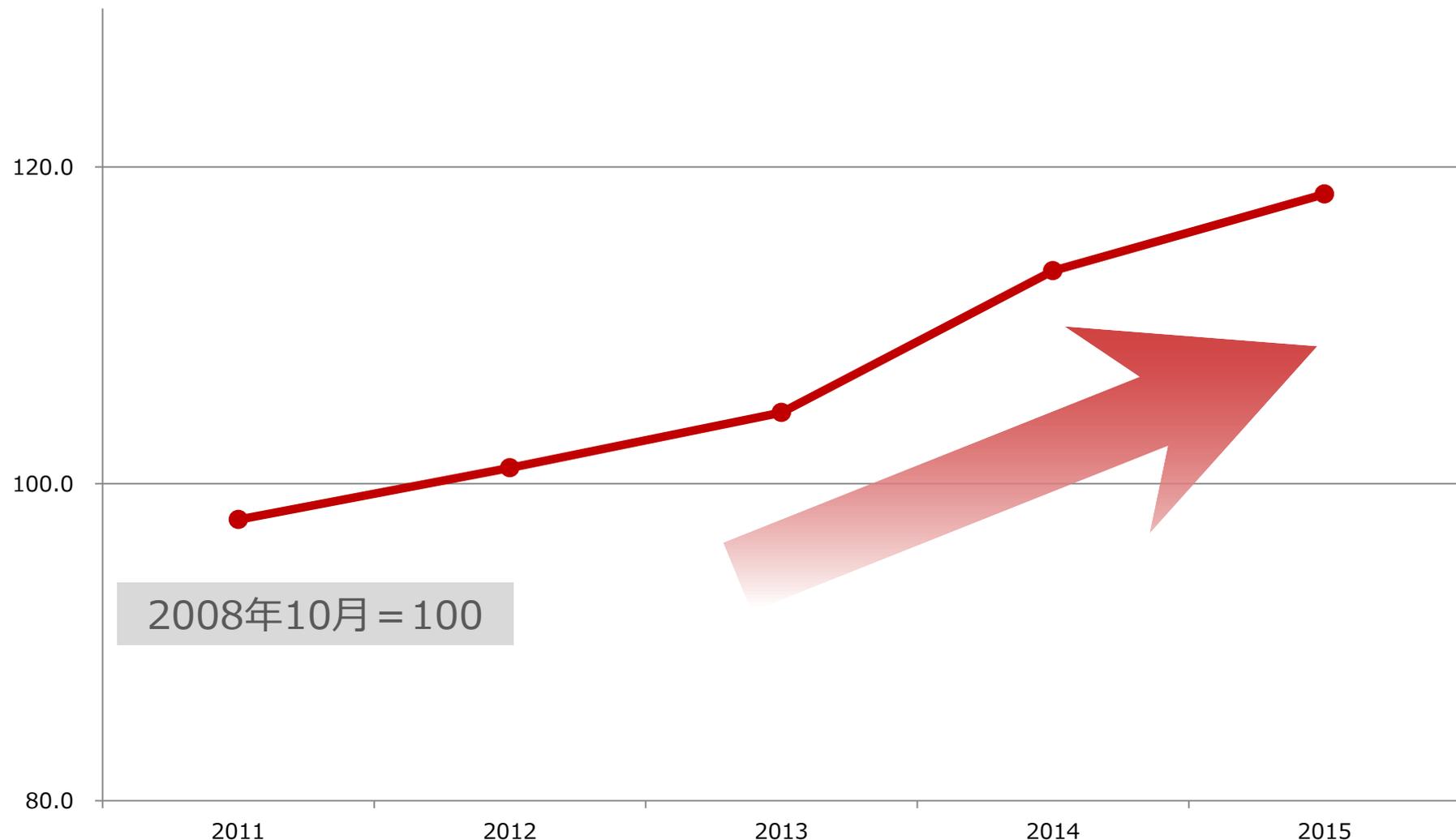
エリア別有効求人倍率の推移



3. 前中期経営計画（2013-2015）

[外部環境④]

工事原価（大規模倉庫）

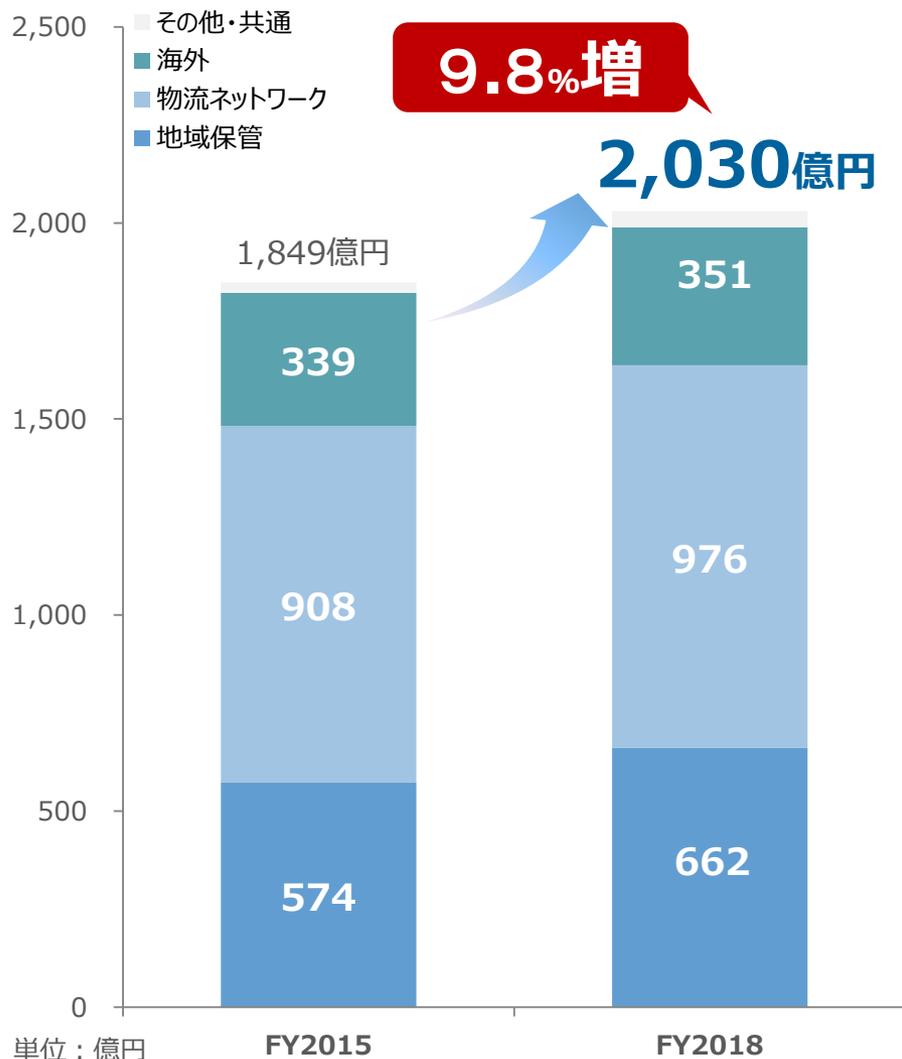


1. 企業概要
2. 2016年3月期 決算概要
3. 前中期経営計画（2013-2015）
- 4. 新中期経営計画（2016-2018）**
5. 参考資料

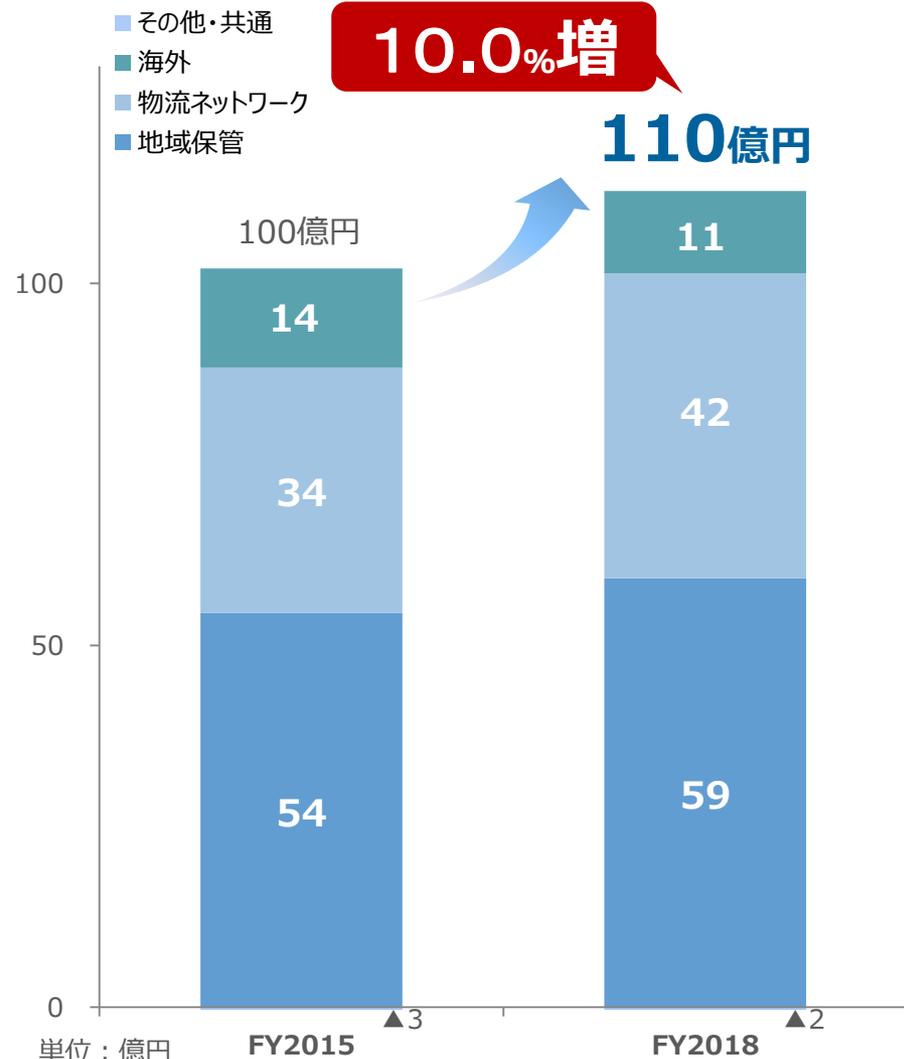
4. 新中期経営計画（2016-2018）

[経営目標]

売上高



営業利益



[基本方針]

事業基盤 強化

① 企業体質の強化

- ・ 業務革新による生産性向上
- ・ 災害対応力の強化
- ・ 多様な人材確保に向けた人事制度の見直し など

新たな 成長

② 新たな成長を見据えた取り組みや体制の強化

- ・ 組織再編による3PL事業の拡大
- ・ 新たな事業領域の探索、および未開拓エリアへの進出
- ・ 国内外における戦略的M&Aなどの実施 など

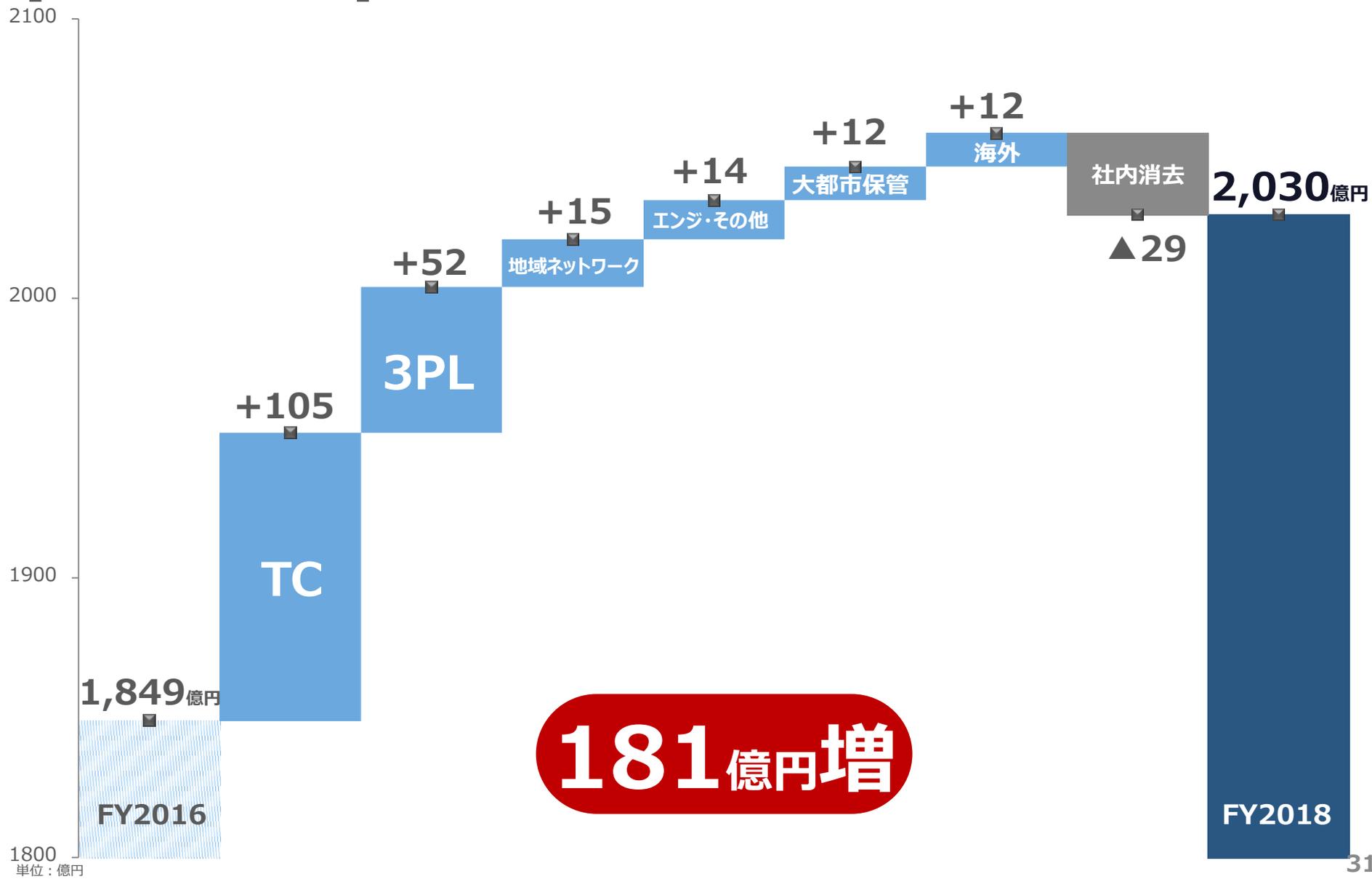
収益向上

③ 強みを活かした既存事業の収益拡大

- ・ 大都市港湾の新設拠点活用による収益拡大
- ・ 地域ネットワーク化による地場貨物の取扱拡大
- ・ 欧州における港湾機能強化と内陸運送拠点の整備
- ・ 中国事業の拡大 など

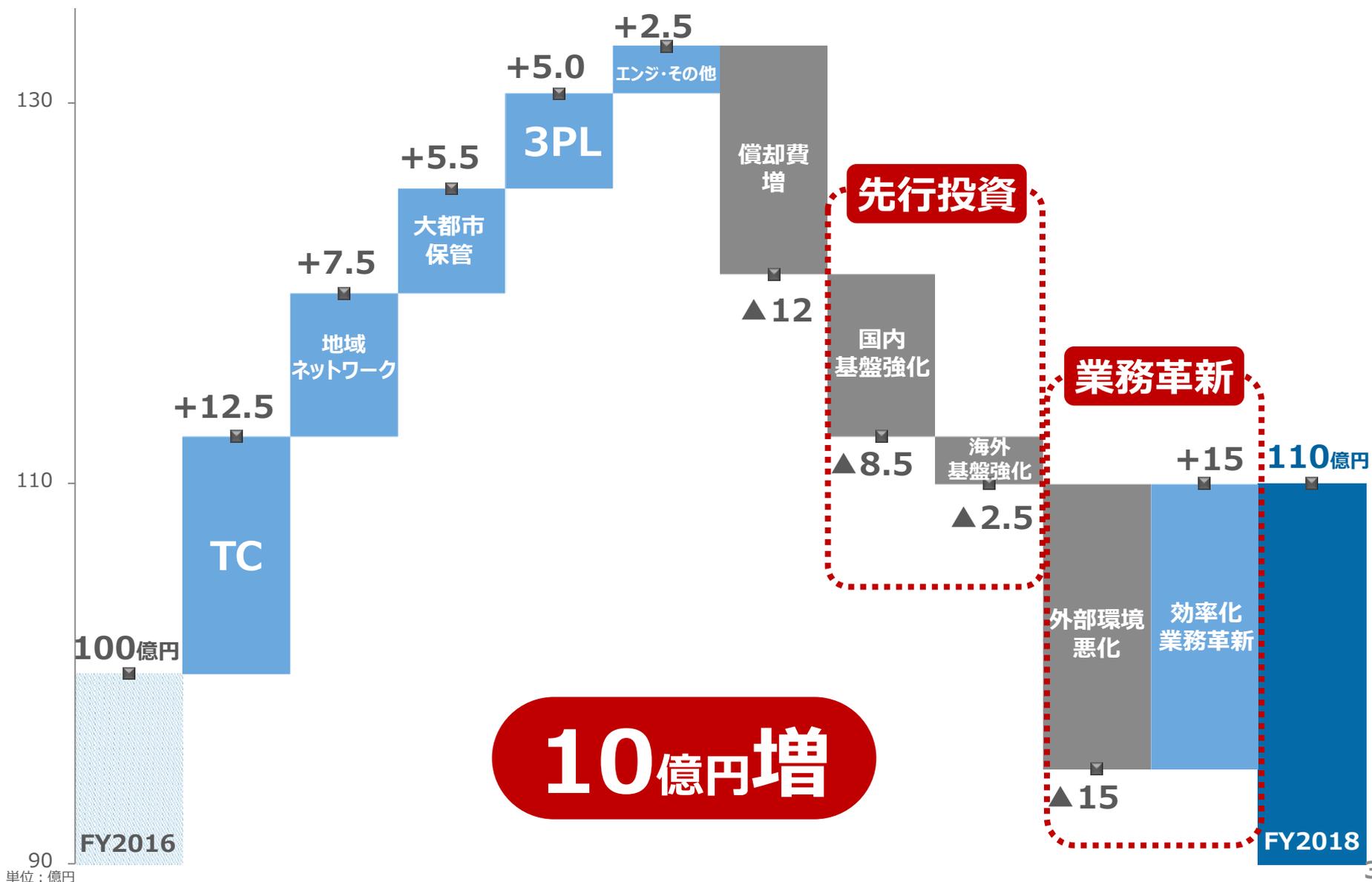
4. 新中期経営計画（2016-2018）

[売上高の増減要因]



4. 新中期経営計画（2016-2018）

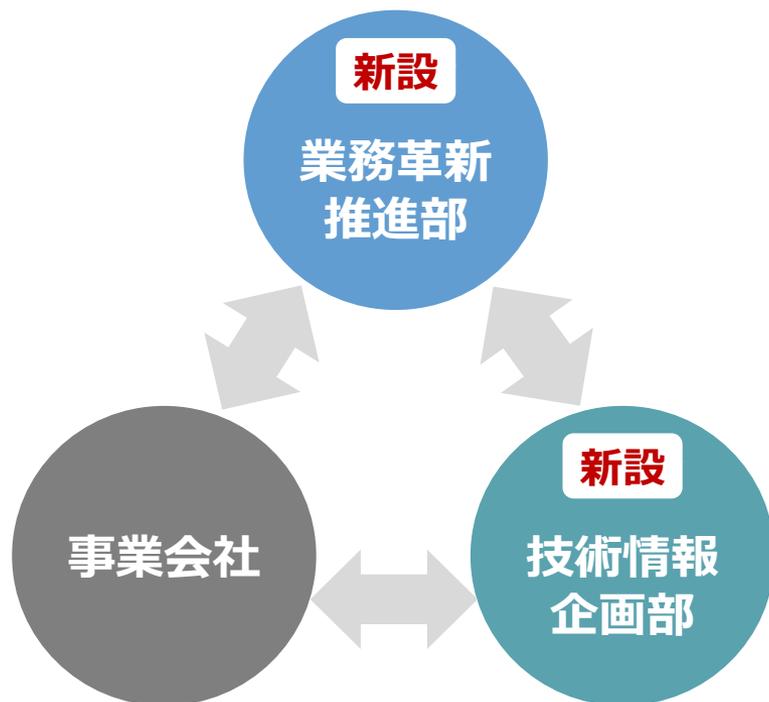
[営業利益の増減要因]



4. 新中期経営計画（2016-2018）

[事業基盤強化：業務革新による生産性向上①]

推進体制

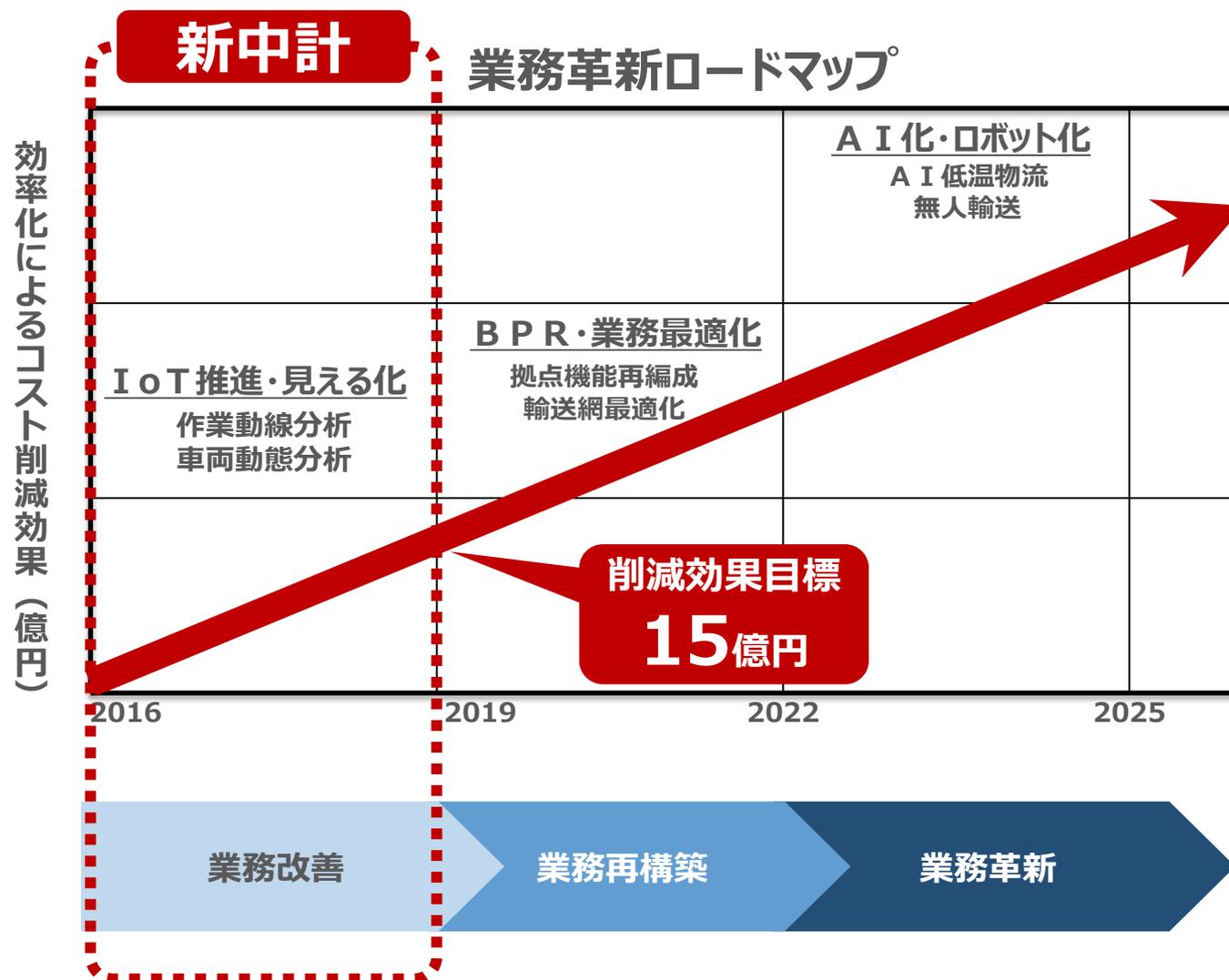


役割分担

業務革新推進部	<ul style="list-style-type: none">10年後の革新モデルの策定業務革新のコントロールタワー
技術情報企画部	<ul style="list-style-type: none">革新モデルに必要な要素技術の適用・導入実行フェーズにおける技術的サポート
事業会社	<ul style="list-style-type: none">業務革新の実行現場情報のフィードバック

4. 新中期経営計画（2016-2018）

[事業基盤強化：業務革新による生産性向上②]



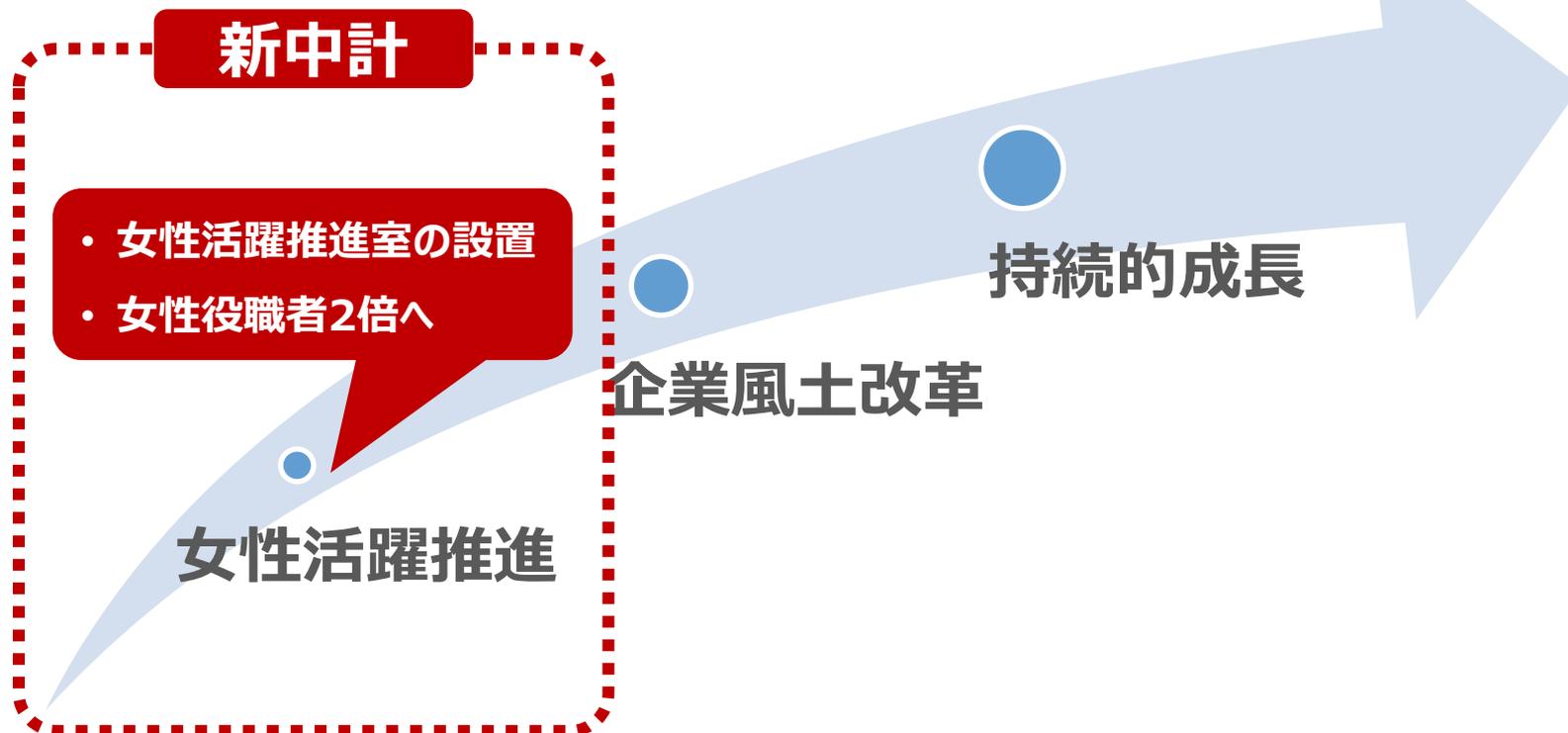
4. 新中期経営計画（2016-2018）

[事業基盤強化：災害対応力の強化]

投資計画		投資額
設備	緊急地震速報導入（全事業所）	200 百万円
	荷捌室の耐震補強（旧耐震の全事業所）	1,700 百万円
	2方向避難経路の確保（津波被害が想定される事業所）	200 百万円
システム	ディザスタリカバリサイト（DRサイト）の構築によるデータセンターの2拠点化	1,100 百万円
投資合計		3,200 百万円

4. 新中期経営計画（2016-2018）

[事業基盤強化：多様な人材確保「女性活躍推進」]



第1回「咲カセル ロジ女フォーラム」



基本方針

- ① ダイバーシティを企業変革の重要な原動力と捉え、その第一歩として女性が活躍できる企業を目指す。
- ② 女性の感性を経営や職場運営に生かし、女性が仕事を通じてより一層成長できる環境を整える。
- ③ 従業員に女性活躍への理解を広め、個々を尊重する風土と、多様な働き方に対応した制度を作る。

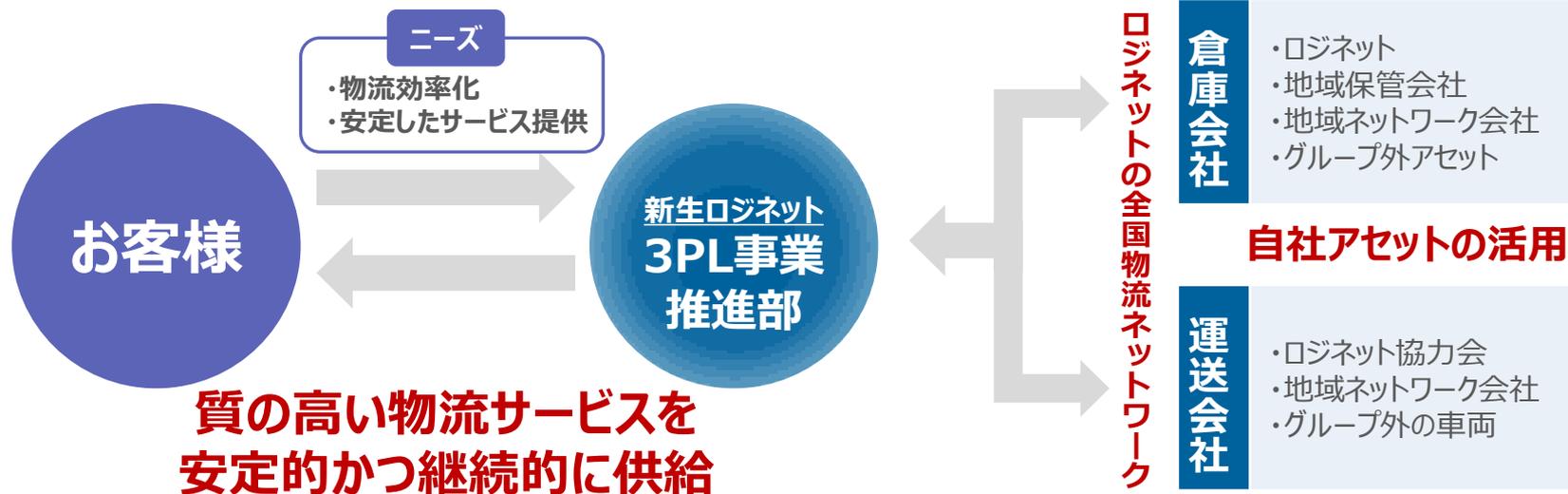
4. 新中期経営計画（2016-2018）

[新たな成長：組織再編による3PL事業の拡大]

組織再編



推進体制



4. 新中期経営計画（2016-2018）

[新たな成長：新たな事業領域の探索、および未開拓エリアへの進出]

ポテンシャルのある事業領域とエリア

低温物流の市場規模 ※当社調べ

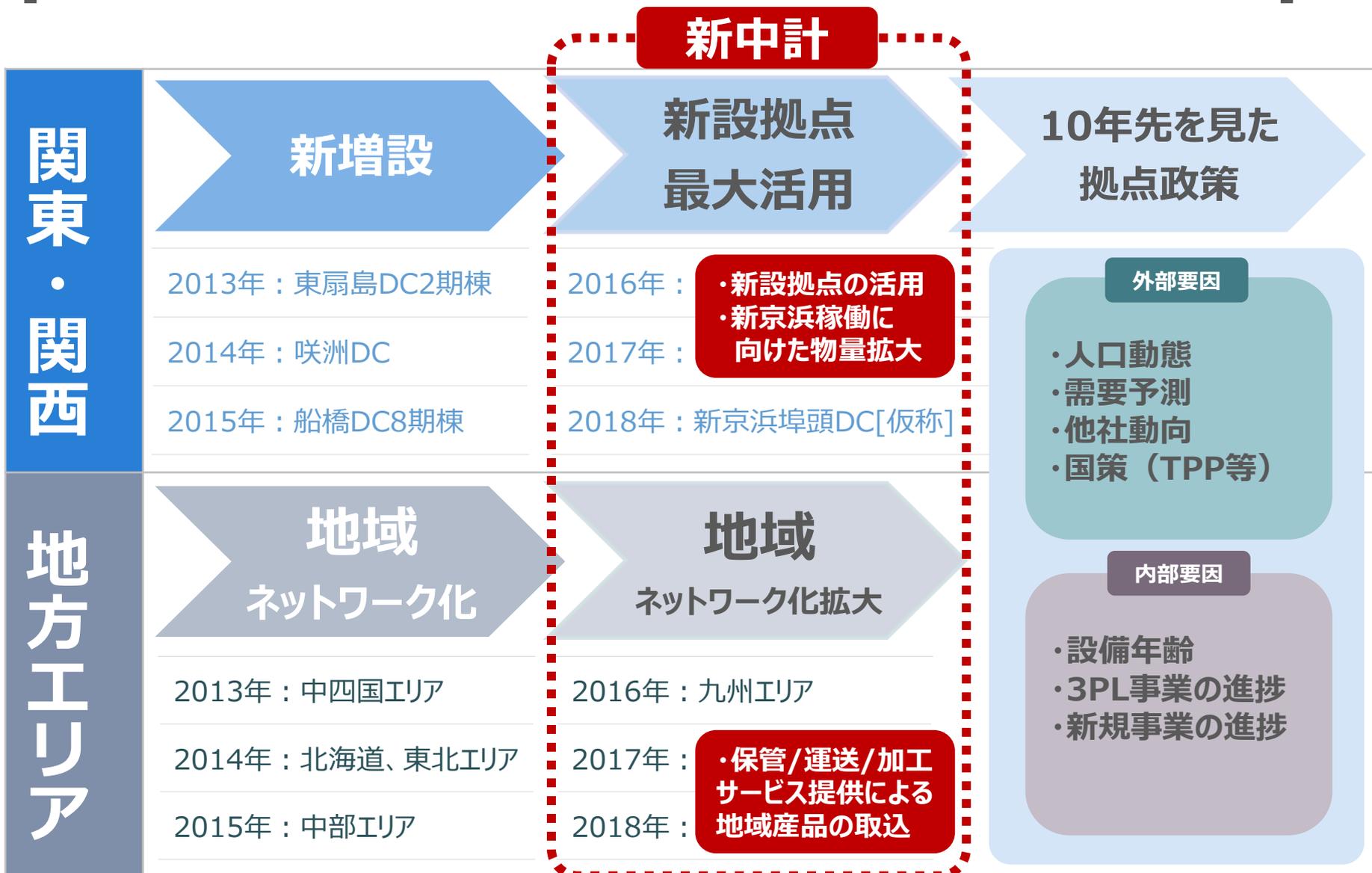
新たな事業領域	<ul style="list-style-type: none"> 宅配、通販業者との協業 		770 億円
	<ul style="list-style-type: none"> 有力CVSへのソリューション提供 		1,500 億円
	<ul style="list-style-type: none"> 農業分野 		1,950 億円
未開拓エリア	国内		300 億円
	ASEAN	ベトナム	1,500 百万ドル
		インドネシア	1,100 百万ドル
		フィリピン	800 百万ドル
		マレーシア	750 百万ドル

事業開発部

海外事業推進部
バンコク駐在員事務所

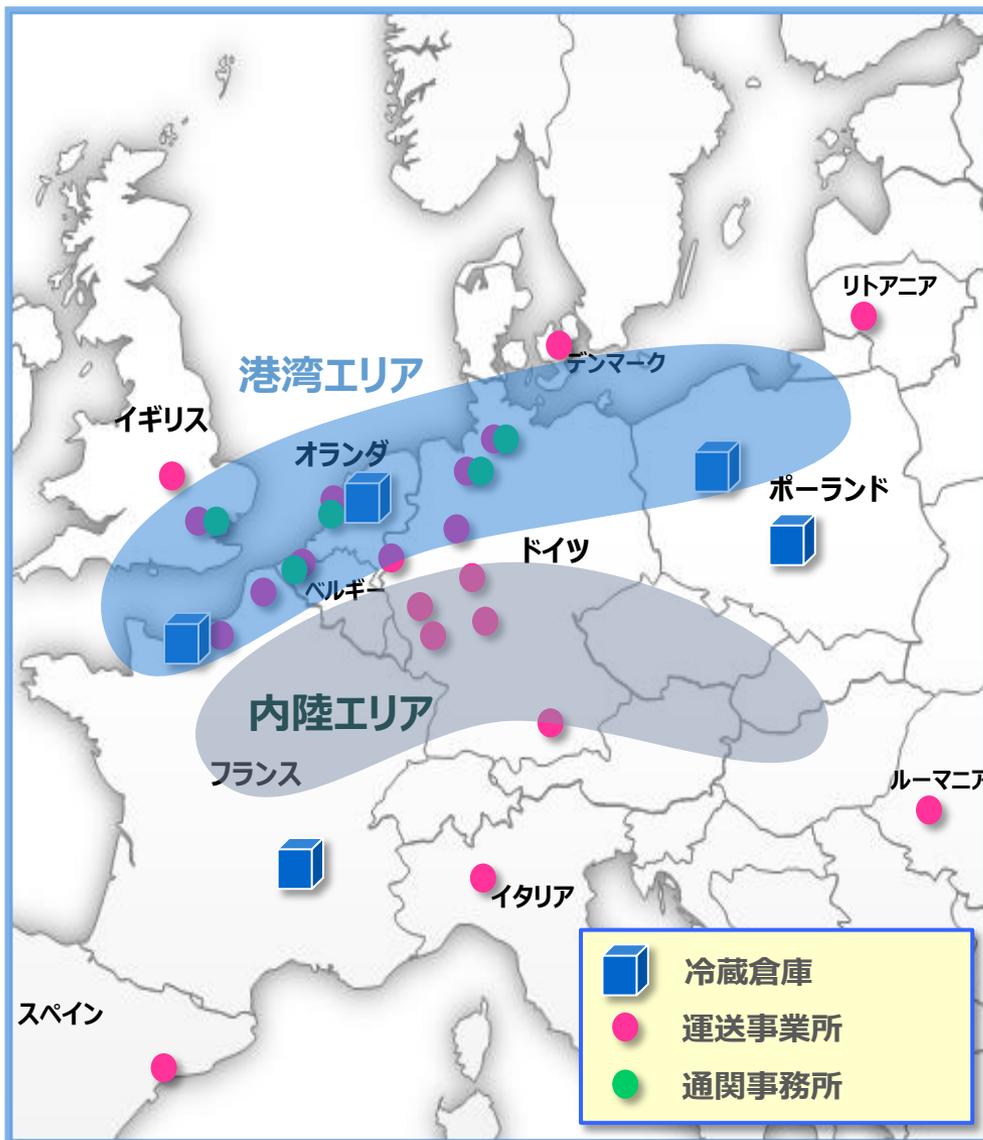
4. 新中期経営計画（2016-2018）

[収益向上：新設拠点活用と地域ネットワーク化による地場貨物の取扱拡大]



4. 新中期経営計画（2016-2018）

[収益向上：欧州事業における港湾機能強化と内陸運送拠点の整備]



港湾エリア

[ロッテルダム港]

- 設備増強による市場優位性の確保

[欧州主要港]

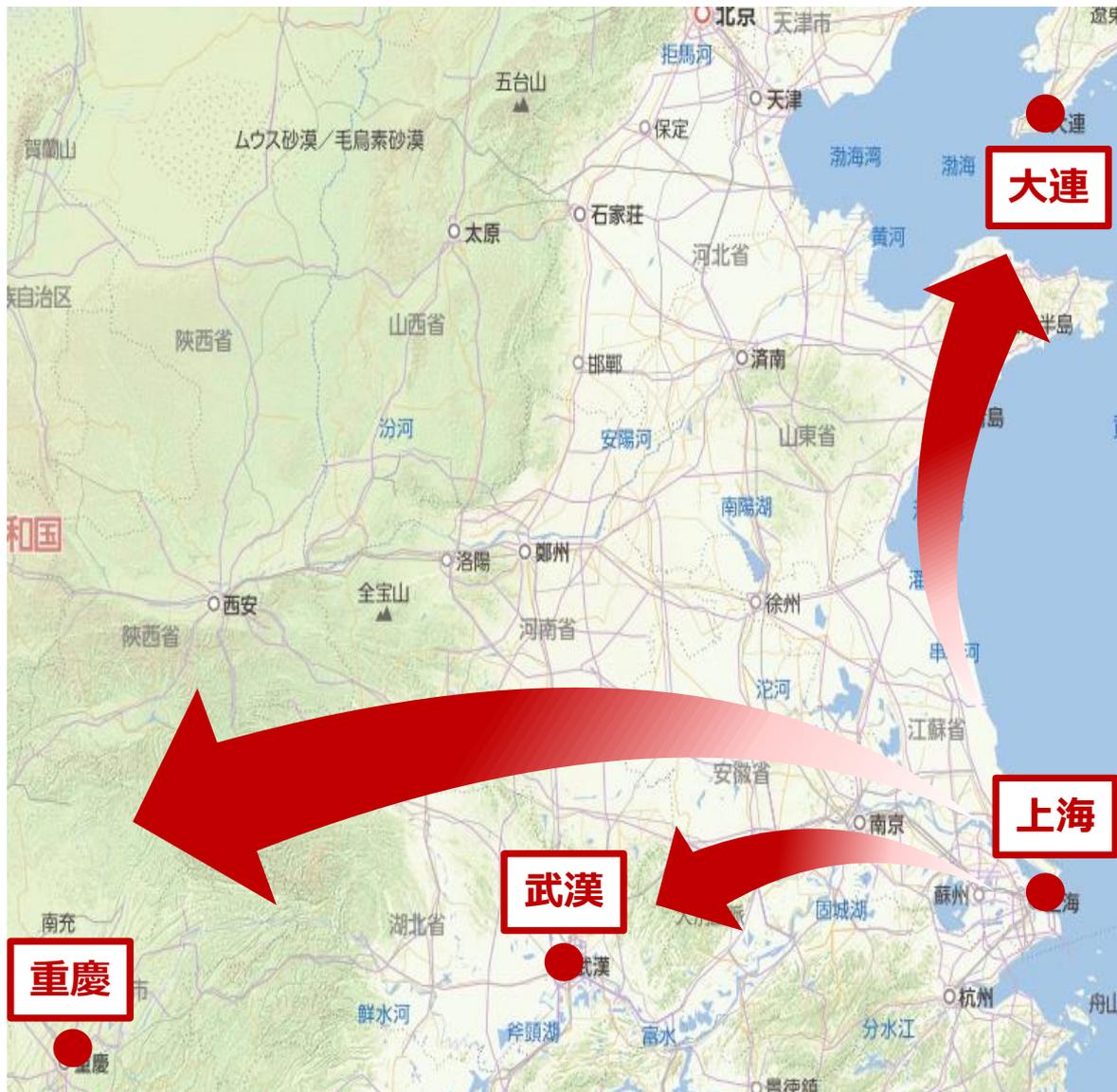
- トータルサービス（通関・保管・運送）のエリア拡大

内陸エリア

- 内陸拠点の新設
 - ① 運送事業の効率化
 - ② 保管事業の拡大

4. 新中期経営計画（2016-2018）

[収益向上：中国事業の拡大]



上海

[上海ローソン]

- 600店舗構想への対応体制の構築

大連・重慶・武漢など

[中国ローソン]

- 物流コンサルティングサービス提供

コンサルの概要

- 包括的な物流コンサル契約
- 物流システムの提供
- 個別の物流改善
(既存物流 & 新規進出地)
- 地域拠点間の輸送サービス

1. 企業概要
2. 2016年3月期 決算概要
3. 前中期経営計画（2013-2015）
4. 新中期経営計画（2016-2018）
5. 参考資料

5. 参考資料

[損益計算書（連結）]

単位：億円、端数四捨五入、（ ）内利益率

	前期	当期	前期比
売上高	1,783	1,849	+3.7%
営業利益	(4.9%) 87	(5.4%) 100	+14%
経常利益	(4.4%) 78	(4.9%) 90	+14.6%
税引前利益	(4.1%) 74	(4.7%) 87	+17.9%
当期純利益	(2.7%) 48	(3.1%) 58	+21.2%

※利益率は1円単位で計算

5. 参考資料

[損益計算書（セグメント別）]

（単位：百万円）

		前期	当期	前期比	増減率
売上高	物流ネットワーク	91,423	90,820	▲ 602	▲0.7%
	地域保管	53,312	57,406	4,093	+7.7%
	海外	31,322	33,897	2,575	+8.2%
	その他・共通	2,264	2,745	481	+21.3%
	合計	178,322	184,869	6,547	+3.7%
営業利益	物流ネットワーク	3,188	3,388	200	+6.3%
	地域保管	4,522	5,447	925	+20.5%
	海外	1,012	1,371	359	+35.5%
	その他・共通	3	▲ 256	▲ 259	-
	合計	8,725	9,950	1,224	+14%

（注）

- 1 「地域保管」に「物流ネットワーク」の業務を一部統合
- 2 当期より一部取引の計上先を「地域保管」から「その他・共通」に変更したため、前期数値を組み替えて比較

5. 参考資料

[財務諸表分析]

		前期末	当期末
総資産	百万円	148,158	150,732
負債	百万円	81,847	81,239
うち、有利子負債	百万円	54,994	51,359
うち、有利子負債（リース債務除く）	百万円	36,175	33,058
純資産	百万円	66,311	69,493
D/E比率	倍	0.8	0.7
D/E比率（リース債務除く）	倍	0.5	0.5
自己資本比率	%	44.5%	46.0%
売上高	百万円	178,322	184,869
当期純利益	百万円	4,774	5,785
自己資本利益率 (ROE)	%	7.5%	8.5%
総資産利益率 (ROA)	%	3.3%	3.9%
総資産回転率	倍	1.2	1.2

注1：D/E 比率の算出方法：有利子負債÷純資産（少数株主持分を除く）

5. 参考資料

[設備投資の状況]

〈設備投資等〉

(単位：百万円)

前期	当期	計画値	前期比	計画比
14,093	8,896	13,926	△ 5,197	5,030

〈減価償却費〉

(単位：百万円)

前期	当期	計画値	前期比	計画比
9,221	9,490	10,922	269	1,431

〈主な設備投資〉

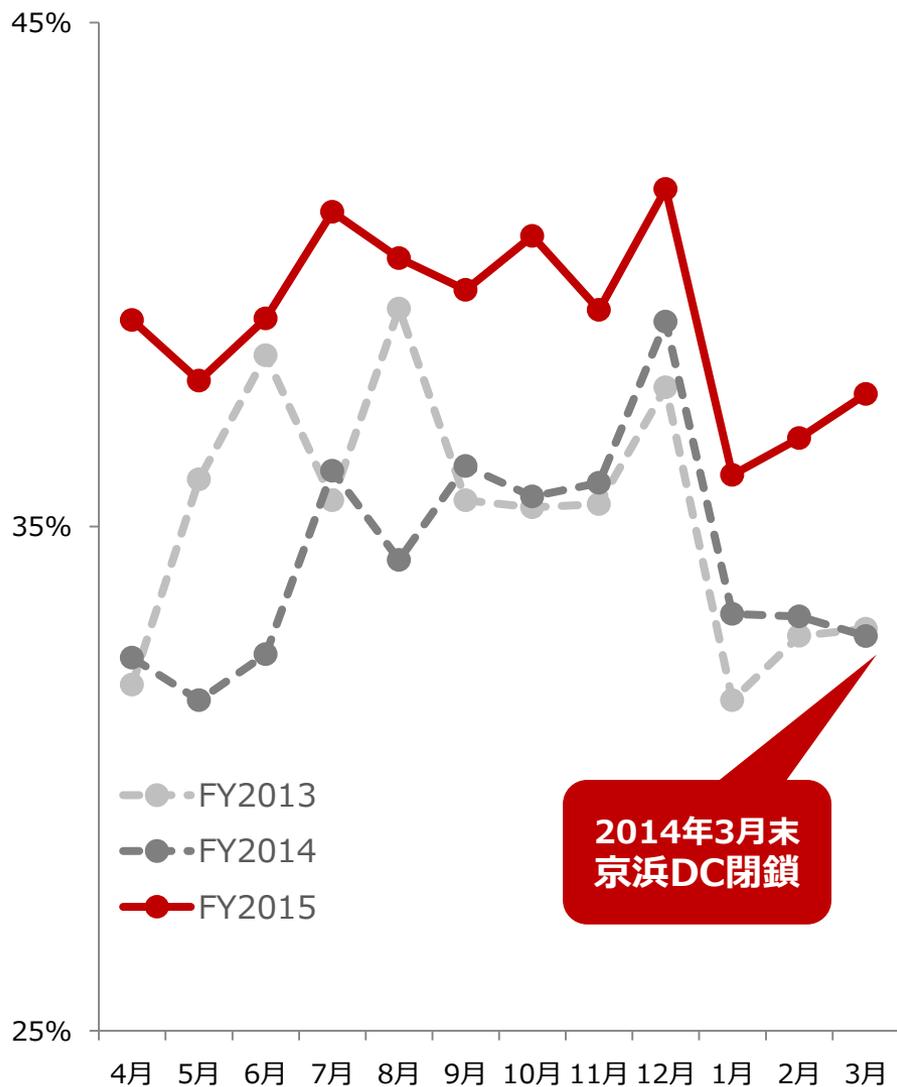
(単位：百万円)

完了年月	会社名	所在地	設備の内容	設備投資 総額	当期計上額	完成後の 増加能力
	事業所名				(既計上額)	
平成27年 12月	(株)ロジスティクス・ネットワーク 船橋物流センター	千葉県 船橋市	物流センター の建替	3,722	2,786 (3,722)	冷蔵 20,260t

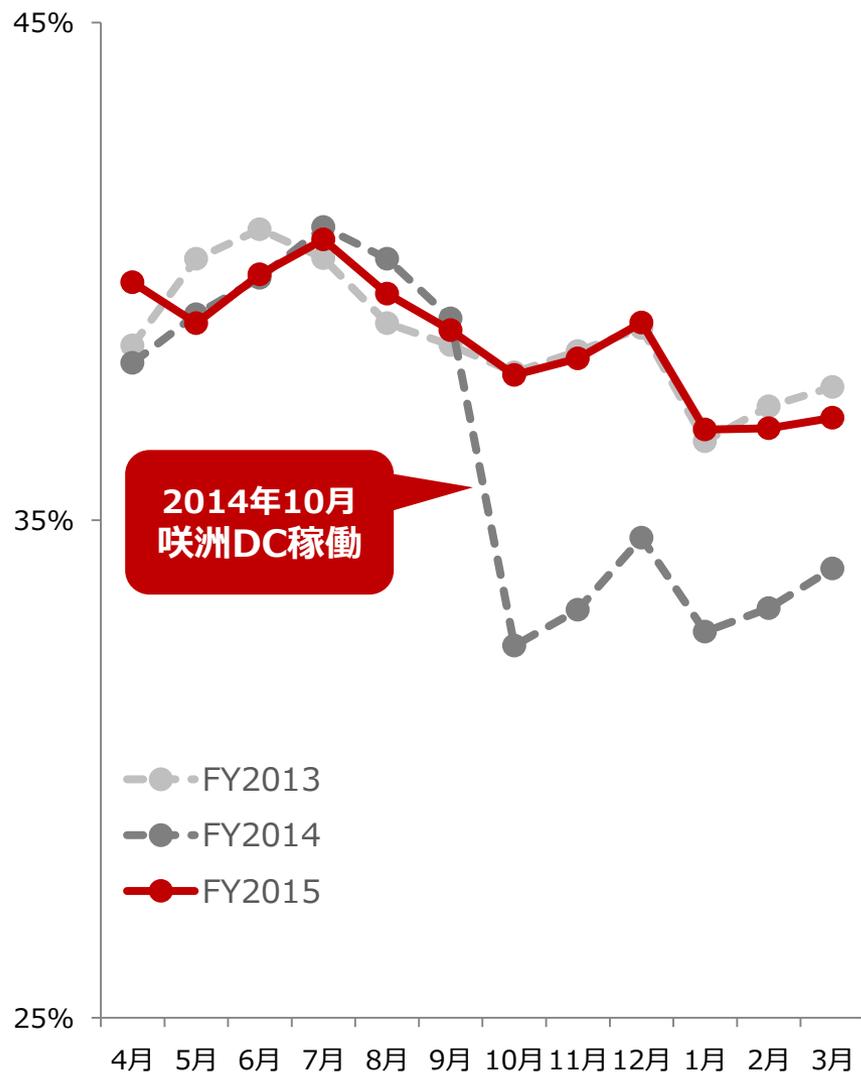
5. 参考資料

[大都市圏の在庫動態]

当社関東エリアの在庫率推移



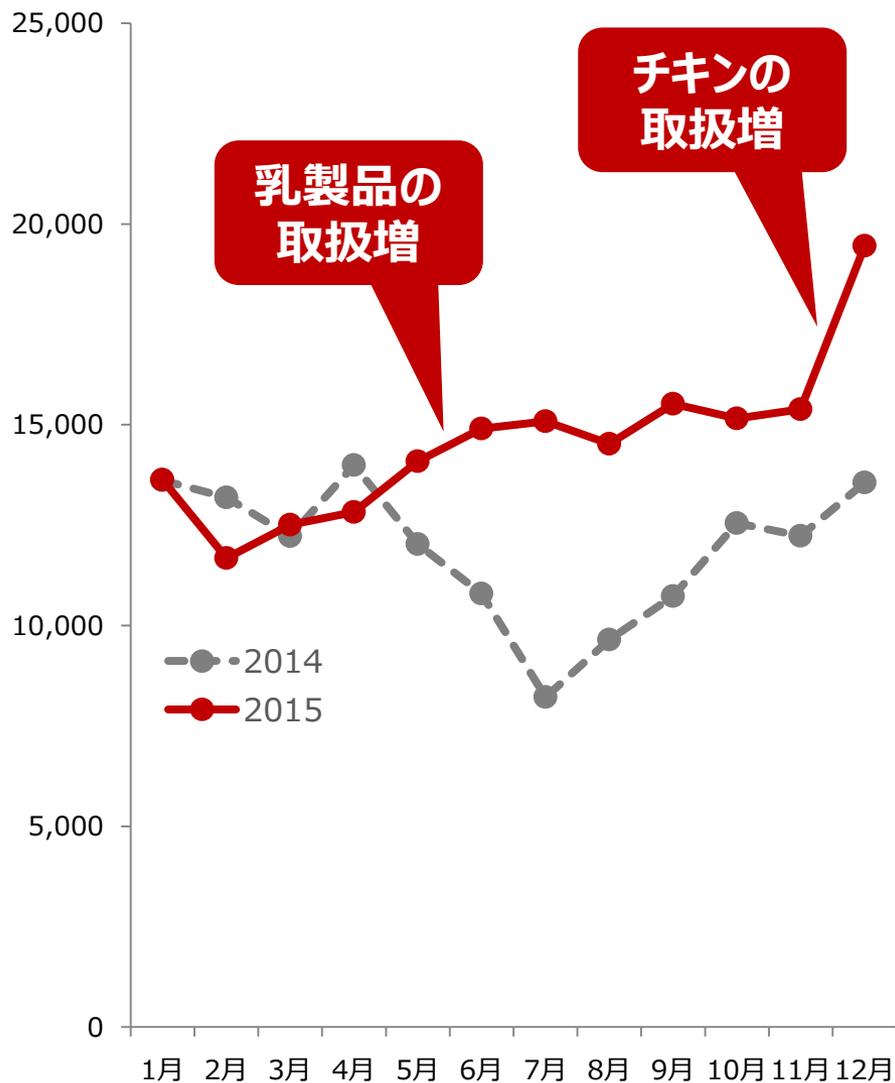
当社関西エリアの在庫率推移



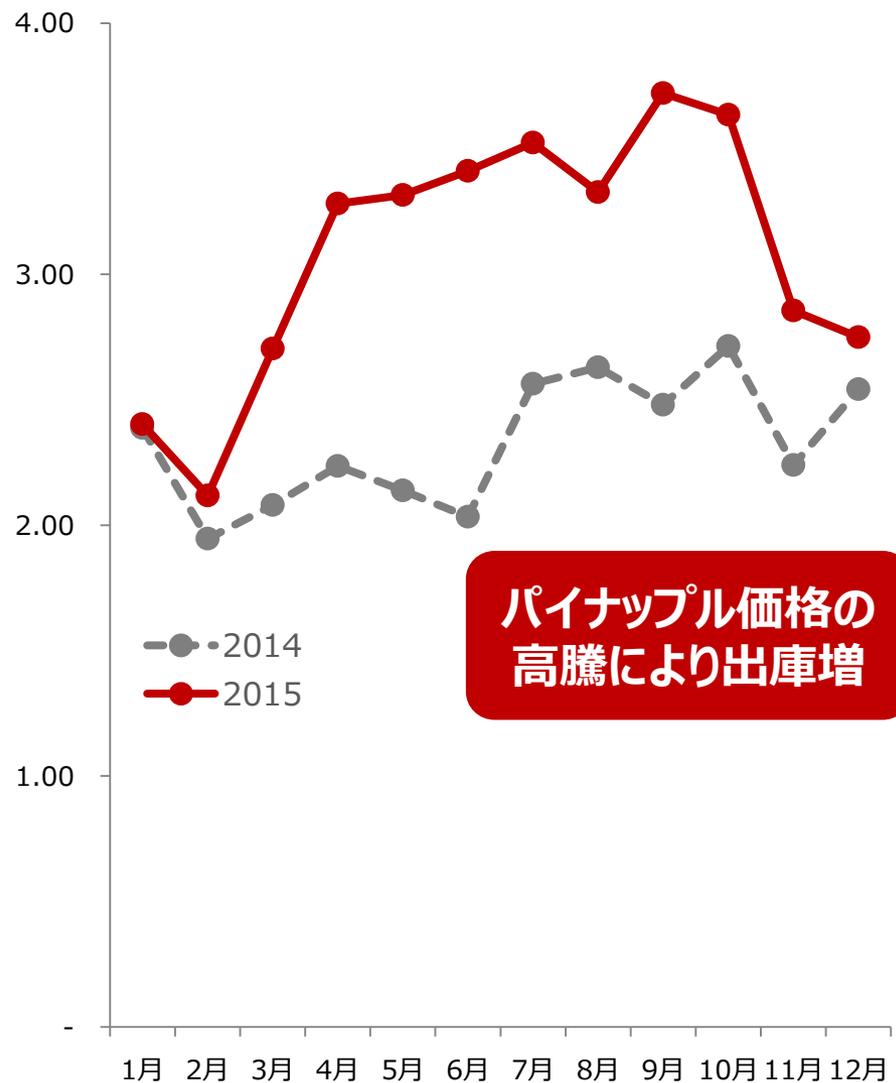
5. 参考資料

[オランダの在庫動態]

港湾エリアの在庫トン数推移



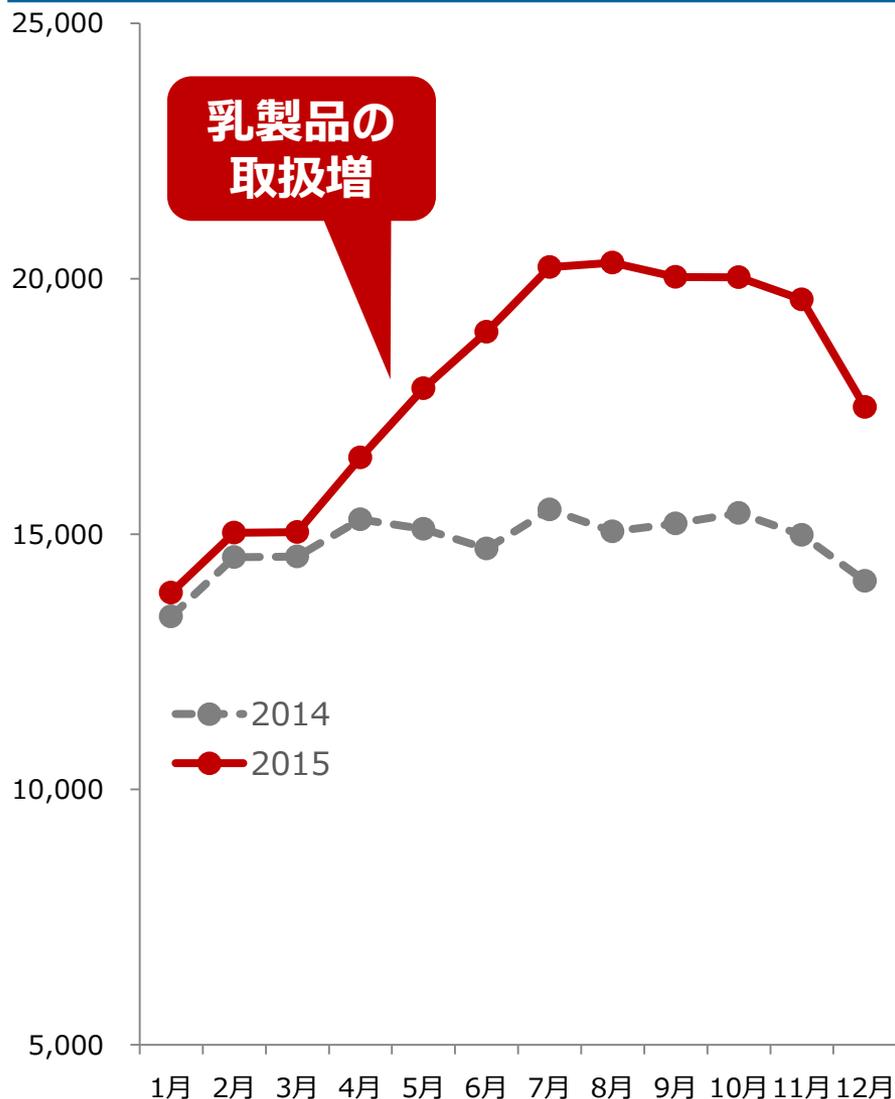
ドラム果汁の回転率 (年間)



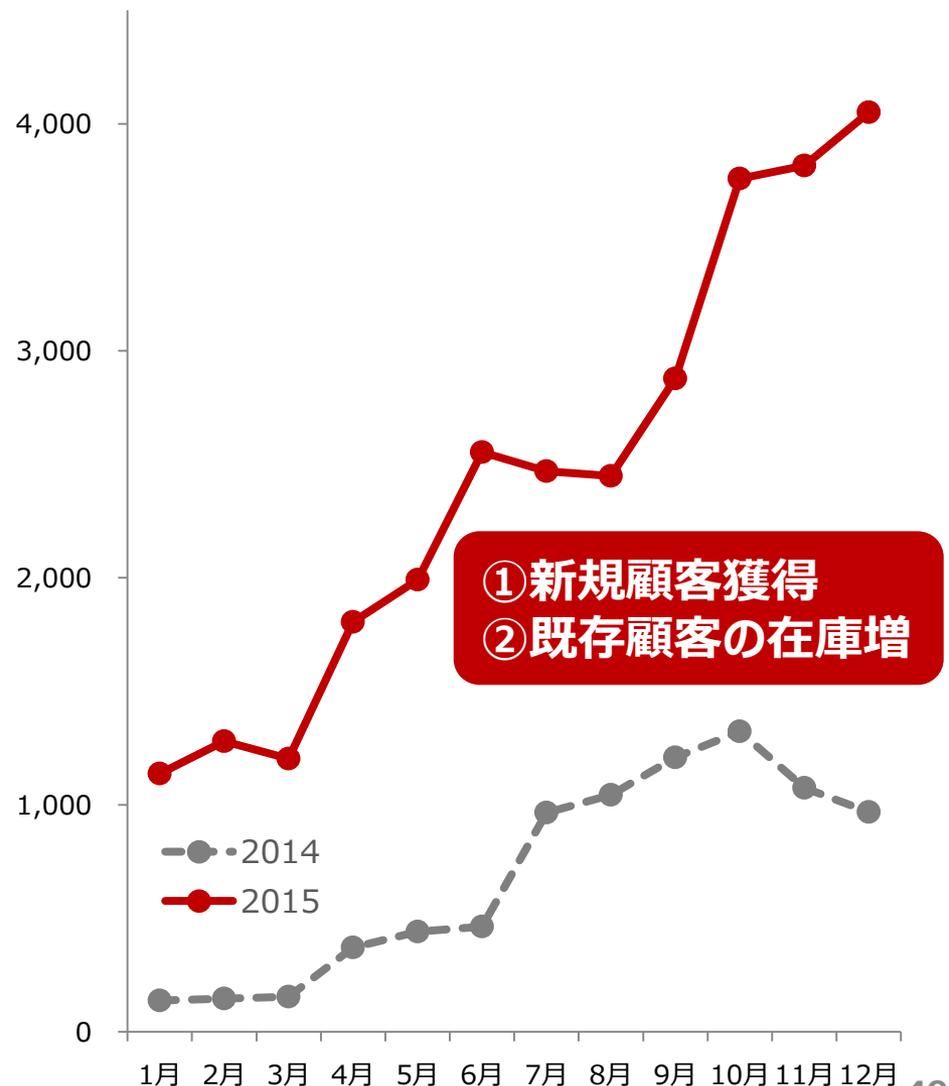
5. 参考資料

[フランスの在庫動態]

ルマンディ（北部）の在庫トン推移



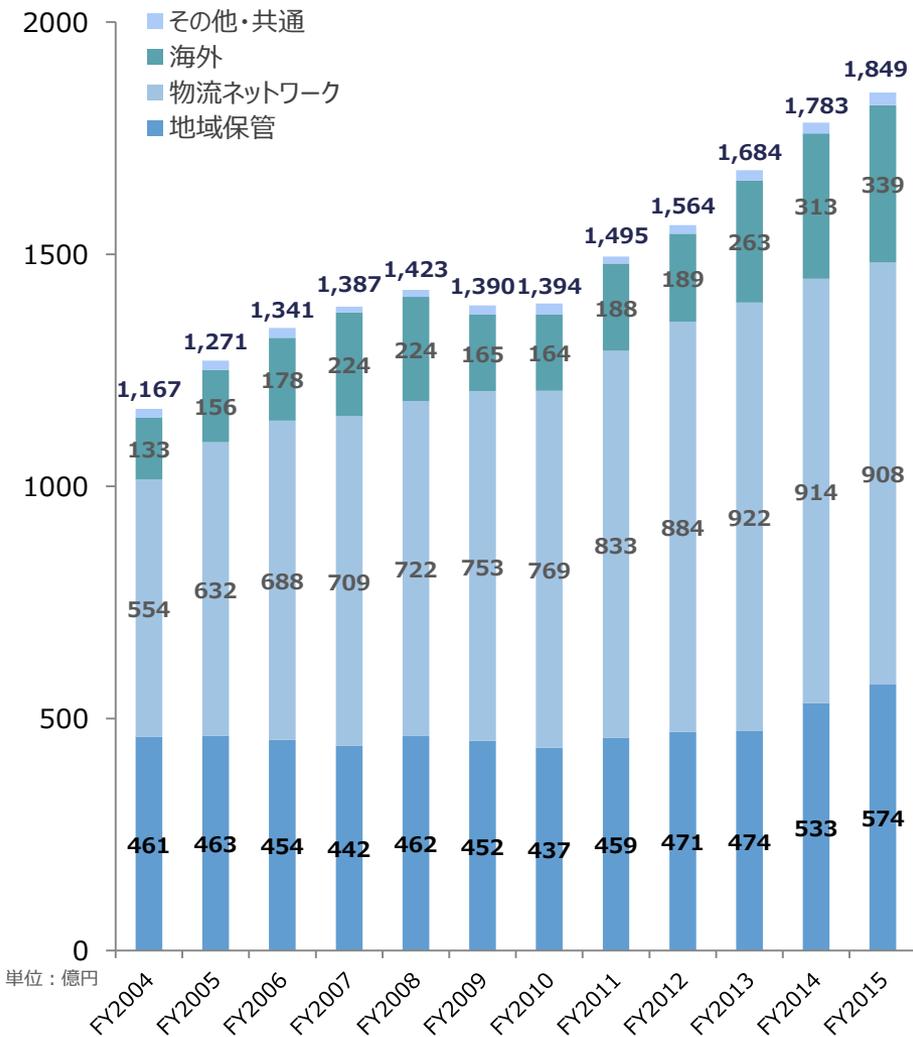
リヨン（中部）の在庫トン推移



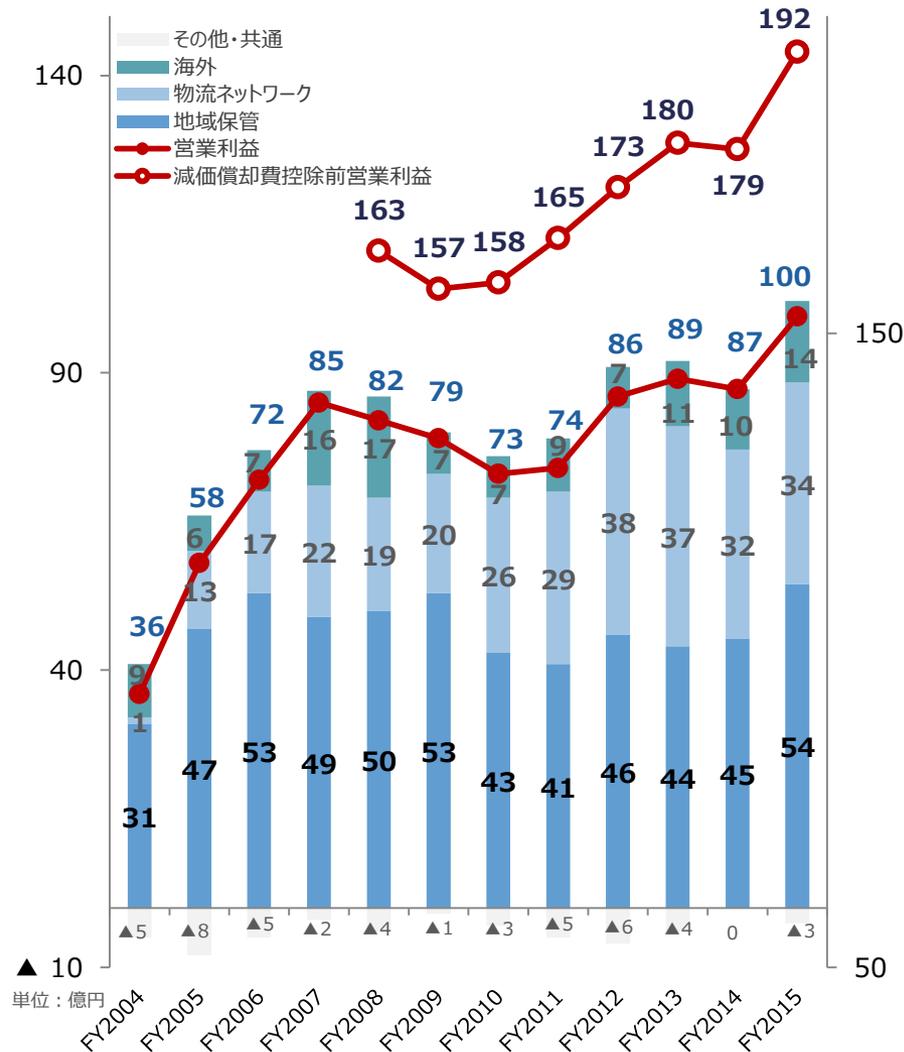
5. 参考資料

[分社後の売上高・営業利益推移]

売上高推移



営業利益推移



この説明資料に記載されている当グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期
待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限
定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られた当
グループ経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、経済情勢および業界環境、為替レート変動、品質保証体制確立の実現
性、新サービスの実現性、成長戦略とローコスト構造の実現性、当グループと他社のアライア
ンス効果の実現性、偶発事象の結果、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な
影響など、リスクや不確実な要素を含んでおりますので、業績見通しのみで全面的に依拠して
判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。

【お問合せ先】

株式会社ニチレイロジグループ本社 経営企画部
Tel 03-3248-2175 Fax 03-3248-2130

株式会社ニチレイ 広報部
Tel 03-3248-2235 Fax 03-3248-2120

株式会社ニチレイロジグループ本社 ホームページ
<https://www.nichirei-logi.co.jp/index.html>

